

令和3年度

岐阜県試験研究機関等の概要

岐阜県

目 次

岐阜県試験研究機関等連絡先	1
岐阜県保健環境研究所	2
岐阜県産業技術総合センター	5
【地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」】	14
岐阜県食品科学研究所	15
岐阜県セラミックス研究所	18
岐阜県生活技術研究所	20
岐阜県農業技術センター	23
岐阜県中山間農業研究所	26
岐阜県畜産研究所	29
岐阜県水産研究所	34
岐阜県森林研究所	38
公益財団法人岐阜県産業経済振興センター	41

岐阜県試験研究機関等連絡先

機 関 名	住 所	T E L	F A X
保健環境研究所	〒504-0838 各務原市那加不動丘 1-1	058-380-2100	058-371-5016
産業技術総合センター ぎふ技術革新センター	〒501-3265 関市小瀬 1288	0575-22-0147	0575-24-6976
食品科学研究所	〒501-1112 岐阜市柳戸 1 番 1	058-201-2360	058-201-2363
セラミックス研究所	〒507-0811 多治見市星ヶ台 3-11	0572-22-5381	0572-25-1163
生活技術研究所	〒506-0058 高山市山田町 1554	0577-33-5252	0577-33-0747
農業技術センター	〒501-1152 岐阜市又丸 729-1	058-239-3131	058-239-3139
中山間農業研究所	〒509-4244 飛騨市古川町是重 2-6-56	0577-73-2029	0577-73-2751
中津川支所	〒508-0203 中津川市福岡 1821-175	0573-72-2711	0573-72-3910
畜産研究所	〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1	0577-68-2226	0577-68-2227
酪農研究部	〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615	0573-56-2769	0573-56-2974
養豚・養鶏研究部	〒505-0037 美濃加茂市前平町 3-8	0574-25-2185	0574-28-4132
養豚・養鶏研究部 関試験地	〒501-3924 関市迫間 2672-1	0575-22-3165	0575-22-3164
水産研究所	〒501-6021 各務原市川島笠田町官有地 無番地	0586-89-6351	0586-89-6365
下呂支所	〒509-2592 下呂市萩原町羽根 2605-1	0576-52-3111	0576-52-4354
森林研究所	〒501-3714 美濃市曾代 1128-1	0575-33-2585	0575-33-2584
(公財) 岐阜県産業経済振興 センター	〒500-8384 岐阜市藪田南 5 丁目 14-53	058-277-1090	058-277-1095
各務原支所	〒509-0109 各務原市テクノプラザ 1-1	058-379-2212	058-379-2215

岐阜県保健環境研究所

所在地 〒504-0838 各務原市那加不動丘 1-1
電話 (058)380-2100(代) F A X (058)371-5016
所長 細井 紀也 設立 昭和 23 年(平成 5 年に改称)
職員数 38 名 (うち研究員数 34 名)
土地面積 12,320 m²(岐阜県健康科学センター全体)
建物延面積 6,718 m²(岐阜県健康科学センター全体 9,974 m²)
対象業種又は技術分野 保健・環境科学全般

1 設置概要(目的、経緯等)

昭和 23 年に設立された岐阜県衛生研究所と昭和 43 年に設立された岐阜県公害研究所が組織統合され、平成 5 年 4 月に岐阜県保健環境研究所として業務を開始した。

保健及び環境の両分野における科学的・技術的中核として、関係行政機関との連携を図りながら、調査研究、試験検査、研修指導、保健・環境情報の解析・提供等を行なっている。

従来、岐阜市野一色(本所)と岐阜市藪田(藪田庁舎)とに分かれていたが、平成 11 年 8 月に各務原市に新築された健康科学センターに統合移転した。

平成 26 年 4 月には、岐阜保健所の試験検査部門を移管し、県下保健所の理化学検査の一部を集約した。

平成 28 年 4 月から疫学情報部を設置し、健康疫学の調査分析や感染症検査の信頼性確保に対応できるよう体制を整えた。

2 組 織

所長	総務課 (4 名)	・人事、予算、会計、財産管理等
	疫学情報部 (2 名)	・健康疫学調査分析、感染症等検査における信頼性確保の研究
	└ 感染症情報センター	・感染症発生情報の収集分析
	保健科学部 (13 名)	・ウイルス及び細菌等感染症、食中毒に関する検査・調査研究
	生活科学部 (4 名)	・医薬品、家庭用品に関する検査・調査研究 ・連携大学院の管理運営
	環境科学部 (8 名)	・大気、水質、環境放射能、廃棄物、微量化学物質等に関する検査・調査研究 ・大気環境監視テレメータシステム及び大気環境測定車の管理運営
	食品安全検査センター (7 名)	・食品に関する検査・調査研究、岐阜保健所検査機能

3 重点分野

(1) 調査研究事業

感染症・食中毒の予防と発生機構、食品・医薬品の安全性確保、環境汚染の評価・解明等に関する調査研究を実施する。

(2) 行政検査事業

食中毒集団発生事例及び各種感染症発生時の細菌・ウイルス検査、収去食品・医薬品・家庭用品等の検査及び大気・水質・土壌・廃棄物・放射能・微量化学物質等の環境調査を実施する。

(3) 技術指導・支援関連事業

保健所、市町村、民間企業等を対象にして技術研修・相談を行うと共に、大学、民間等から研修生を随時受け入れ、必要に応じた技術支援を実施する。

(4) 研究協定事業

岐阜薬科大学、岐阜大学大学院連合創薬医療情報研究科及び岐阜医療科学大学との協定により、大学との教育・研究協力を実施する。

4 主要研究テーマ

- ① 数理モデルを用いた感染症の発生動向解析手法の確立（疫学情報部）
- ② 環境水のカルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌サーベイランス（保健科学部）
- ③ 岐阜県におけるマダニ媒介性感染症のリスク評価（保健科学部）
- ④ 構造判定が困難な指定薬物の同定に資する基礎研究（生活科学部）
- ⑤ PAH キノン類と光化学オキシダントに関する研究（環境科学部）
- ⑥ 岐阜県における微小粒子物質の地域特性に関する研究（環境科学部）
- ⑦ 災害等緊急時に適用可能な GC/MS データベースの構築に関する研究（環境科学部）
- ⑧ 食品添加物の分析法に関する検討（食品安全検査センター）
- ⑨ 下痢原性大腸菌検索における検査手法の検討（保健科学部）

5 主要試験研究機器

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
リアルタイム PCR 装置	ロシュ LightCycler96System	LED 励起 4 波長、96 サンプル
遺伝子増幅装置(サマルタクト)	バイオラッド c1000 Touch	2×48 リアクションモジュール
DNA 解析装置(キャピラリー式 DNA シンセサー)	ライオンテクノロジーズジャパン3500 シンセティックアナライザー	8 本キャピラリー, GeneMappar ソフトウェア ver. 5.0
超低温フリーザー	パナソニックヘルスケア(株)MDF-1156ATN	-150℃, 自動補助冷却装置, 温度記録計付
パルスフィールドゲル電気泳動装置	バイオラッド (株)CHEF-DRIII チラーシステム	パルス角度 90~120° 分離サイズ 100bp~6Mbp
二波長クロマトスキャナー	島津 CS-910	測定範囲: 200-800nm
分光光度計	日本分光 V-650 等	測定範囲: 190-900nm, タブレット方式
マイクロプレートリーダー	バイオラッド モデル 680 等	測定波長範囲 400-750 nm
真空凍結乾燥機	アドバンテック VF-350 等	トラップ 捕集量 1L/回, トラップ 槽容量 6L
蛍光顕微鏡	オリンパス BX51-33-FLD-2, DP70-SET-A	測定倍率: 40-1,000 倍, 有効 1,250 万画素相当
ガスクロマトグラフ-タンデム質量分析装置	アジレント 7000 B	トリプル四重極 m/z 10-1050
高速液体クロマトグラフ精密質量分析装置	島津 NexeraX2 QExactive Plus	Orbitrap, m/z 50-6000
高速液体クロマトグラフ質量分析装置	アジレント 1100 シリーズ LC/MSD SL	シングル四重極, m/z 50-3000
原子吸光分光光度計	日立 ZA3300 等	Cd, Pb の定量分析
卓上型電子顕微鏡	日本電子 JCM6000	10 ~ 60000 倍
フーリエ変換赤外分光光度計	日本分光 FT/IR-4600	測定波数範囲 7800~350cm ⁻¹
デジタルマイクロスコープ	キーエンス VHX-2000 等	測定倍率: 20-2,500 倍
全有機炭素分析計	島津 TOC-L	水中の有機物を炭素量として測定
誘導結合プラズマ質量分析装置	アジレント ICP-7500CE	Cd, As, Pb, Se (環境水) 定性・定量分析
高周波プラズマ発光分光分析計	サーモフィッシャーサイエンティフィック iCAP6500 Duo	Cd, As, Pb, Se (排水) 及び B の定性・定量分析
還元酸化水銀測定装置	日本インスツルメント RA-4300	Hg の定量分析
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置	日本電子 JMS-700	ダイオキシン類等微量が核物質の定量分析
ガスクロマトグラフ質量分析装置	TRACE1310GC-ISQ1T 等	イオン化法: EI 及び CI, 質量範囲: 1.2-1,200u
PM2.5 成分分析用イオンクロマトグラフ	島津 CBM-20A 等	陽イオン・陰イオンの定量分析
カーボンアナライザー	東京ダイレック Lab Model	エアロゾル中の炭素量測定 (1.0 ~ 105 µg/cm ²)
電子捕獲・水素炎イオン化検出器付ガスクロマトグラフ	アジレント 7890 B	オートサンプラー (150 検体), 炉温温度範囲: 室温+4℃-450℃
紫外線照射装置	プリントグラフ CMOS I	DNA 染色ゲルの撮影・タンパク質染色ゲルの撮影
自動核酸抽出装置	マグナビユア 24 インスツルメント	血液検査用器具 検体前処理装置
リアルタイム PCR システム	CronoSTAR96	SARS-CoV-2 Direct Detection RT-qPCR Kit によるリアルタイム検出
ヘッドスペースサンプラー付 GC 質量分析計	GCMS-QP2020NX 及び HS-20Trap	地下水等の試料中の揮発性有機化合物の分析
液体クロマトグラフ-タンデム質量分析装置	SCIEX Triple Quad5500+システム等	食品中の残留農薬や動物用医薬品等の含有量検査
リアルタイム PCR 装置	QuantStudio5	遺伝子組み換え食品の含有検査に使用
リアルタイム PCR 装置	QuantStudio5	新型コロナウイルスの検査・解析に使用
溶出試験用自動サンプリング装置	Agilent850-DS	後発医薬品の溶出試験、収去医薬品の規格試験

6 定期刊行物

岐阜県保健環境研究所報（年1回）

ぎふ保環研だより（広報誌 年3回）

7 利用案内

共同研究：県の共同研究規程により実施する（企業分は企業が負担）。

受託研究：研究可能な内容について実施する（受託研究契約の締結が必要で、有料）。

技術相談指導：技術相談は来所あるいは電話によって受け、技術指導は所内にて指導を行う（無料）。

技術研修：保健所技術職員を対象にした技術研修を行う。

企業、大学等から、要綱に従い研修生を受け入れる。

出前講座：一般県民を対象にした各種の講座テーマを用意し、研究員が依頼者の希望地に出向いて講座を行う（講座料：無料）。

8 相談窓口

E-mail アドレス c22614@pref.gifu.lg.jp

ホームページ <http://www.health.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

名鉄各務原線 「市民公園前駅」または「各務原市役所前駅」下車 徒歩 15分

JR 高山本線 「那加駅」下車 徒歩 20分

東海北陸自動車道 「岐阜各務原 IC」から車で 15分

岐阜県産業技術総合センター

所在地 〒501-3265 関市小瀬 1288

電話 (0575)22-0147

F A X (0575)24-6976

所長 梅村 澄夫

設立 昭和 12 年（令和元年再編）

職員数 73 名（うち研究員数 56 名）

土地面積 13,214 m²

建物延面積 9,887.36 m²

対象業種又は技術分野 機械・金属業界、プラスチック、化学工業、石灰、繊維、紙業界、電気・電子、メカトロ、ソフトウェア・情報処理を対象。鋳造・ダイカスト・プレス・鍛造・切削・研削・熱処理・表面処理などの金属素材とその製造及び加工技術、自動制御・機械化技術や計測技術などの品質管理技術、炭素繊維複合材料等の成形加工技術、新材料・新製品開発、機能性付与技術、新しい加工技術の開発、生産技術の高度化・省力化・自動化、IoT・AI 技術、自動制御技術など。

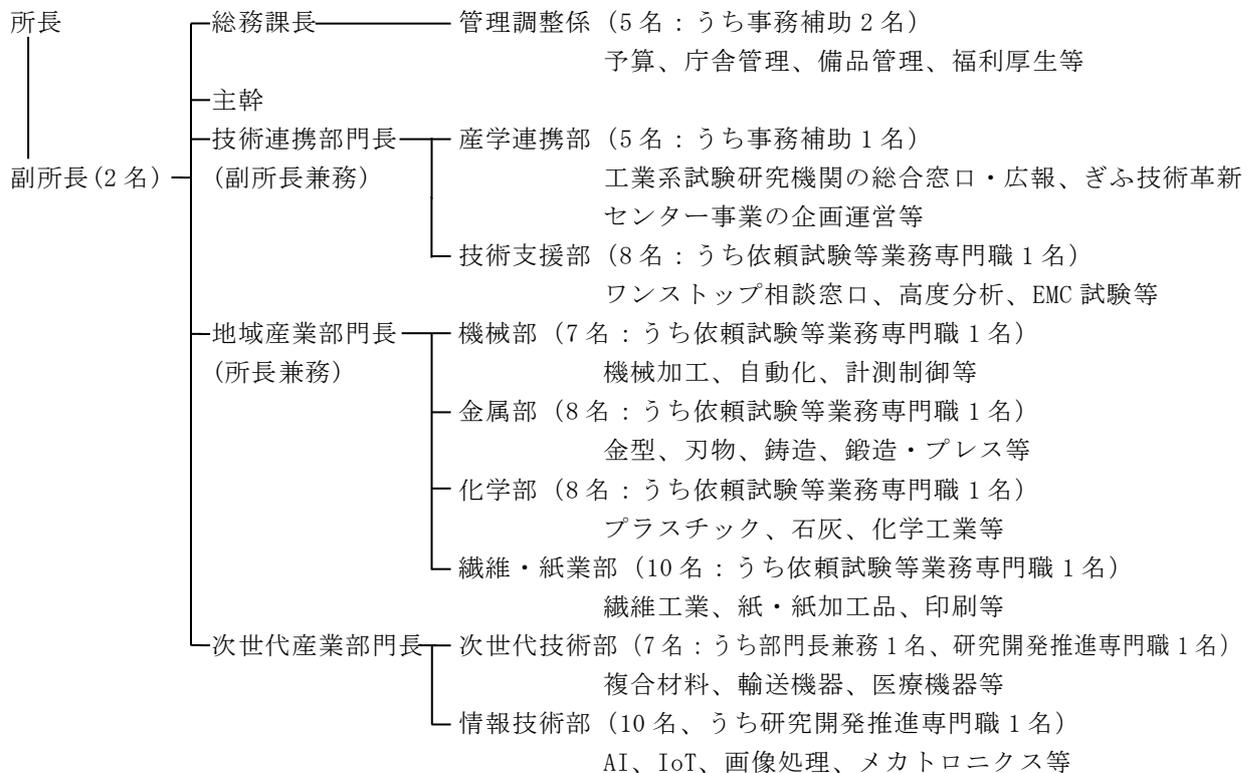
1 設置概要(目的、経緯等)

岐阜県が掲げる成長・雇用戦略「企業技術力強化支援プロジェクト」の一環として、工業技術研究所、産業技術センター、情報技術研究所の機能を集約した新たなモノづくり拠点「岐阜県産業技術総合センター」を開所した。

産業技術総合センターは「モノづくり技術」に関する総合的な研究開発・技術支援の拠点として、多種多様な技術相談にワンストップ対応するほか、各分野の独自技術の複合化や異分野との連携・融合により新技術・新製品の開発を支援する。

また、企業の身近な研究室として利活用できるように、幅広い分野に対応する各種試作機や評価分析機器等を設置する。機械・金属・化学をはじめとする各地域産業から航空機などの成長産業に至る幅広い支援により、本県産業の持続的な発展に貢献する。

2 組織



※他に兼務職員 3 名（本務：食品科学研究所 1 名、本務：セラミックス研究所 1 名、本務：生活技術研究所 1 名）

3 重点分野

- ・機械分野 機械加工、自動化、計測制御等
- ・金属分野 金型、刃物、鋳造、鍛造・プレス等
- ・化学分野 プラスチック、石灰、化学工業等
- ・繊維・紙業分野 繊維工業、紙・紙加工品、印刷等
- ・次世代産業分野 複合材料、輸送機器、医療機器等
- ・情報分野 AI、IoT、画像処理、メカトロニクス等

4 主要研究テーマ

- (1) 中小製造業におけるモノづくりスマート化推進プロジェクト研究課題
 1. スマート金型の応用展開に関する研究
 2. プレス金型の故障診断手法の確立
 3. IoT 技術を活用した予防保全に関する研究開発
 4. クラウド技術を活用したリモート監視に関する研究開発
- (2) 革新的モノづくり技術開発支援プロジェクト研究課題
 1. クレーム対応のための分析試験の高度化
 2. EMC 試験設備を活用した電子機器の高品質化
 3. セルロースナノファイバーを用いたマルチマテリアル化
 4. 革新的生産技術による生産性の向上
 5. AI 技術を活用した検査工程の省力化・効率化
- (3) 美濃和紙原料の供給安定化事業研究課題
 1. 美濃産コウゾの高品質化のための栽培・管理技術の開発
- (4) 地場産業の技術承継・新商品開発プロジェクト研究課題
 1. 刃物製品のブランド力向上のための切れ味評価技術の開発
- (5) 新価値創造によるサステナブル社会推進プロジェクト研究課題
 1. 現場生産性向上を図る高機能プラスチック製品の開発
- (6) 重点研究課題
 1. 難削材の高効率切削加工に関する研究
 2. 表面処理／表面加工による金属製品の高品質化
 3. GIFU ブランド繊維製品の開発
 4. 軽量材料／情報技術を活用した福祉機器の開発
 5. 品質見える化のための画像センシング技術に関する研究開発
- (7) 地域密着型研究課題
 1. 金属材料への表面処理技術に関する研究
 2. 鋳鉄の歪み取り熱処理に関する研究
 3. 水栓製品の品質向上に関する研究
 4. 石灰水洗ケーキの環境材料への応用
 5. 高保温性不織布の開発
 6. 段ボールの湿度影響評価に関する研究
 7. プレス成形技術・接合技術を活用した CFRP 製品の開発
 8. 高強度 FRTP の評価技術に関する研究
 9. ものづくり現場の生産性向上のための AI 技術の活用に関する研究開発
 10. 製造・修理工程の効率化を目的とした不具合情報分析と製造・修理計画の支援技術に関する研究
 11. 屋内移動支援機器向け安全装置の研究開発
 12. 目視検査員のための目のセルフケア支援技術の研究開発
 13. 温湿度センシングに関する技術開発
- (8) 外部資金
 1. 背圧成形技術と切削鍛造技術を連動させた複合成形金型システムの開発研究（サポイン）
 2. 金型のダウンサイジング（小型化）を実現する鋳造条件の研究開発（サポイン）
 3. 回収したフッ素の再利用を可能とするセルロースナノファイバーと石灰からなる新規フッ素吸着剤の開発（サポイン）

4. 単一材料による発泡粒子を用いた、遮音（吸音）、軽量、断熱性や意匠性を有する自動車用部材向け2層機能構造体の一体成形技術開発（サポイン）
5. 鋳鉄製品の不良低減と被削性を向上させるIoT/AI キュボラ溶解制御システムの開発（サポイン）
6. 革新材料による次世代インフラの構築（COI STREAM）

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
(機械・金属・次世代産業分野) EMC 試験装置	テクノサイエンスジャパン(株)	放射エミッション試験：周波数範囲 9kHz～18GHz 伝導エミッション試験：周波数範囲 150kHz～30MHz 放射イミュニティ試験：周波数範囲 80MHz～6GHz 伝導イミュニティ試験：周波数範囲 150kHz～230MHz 静電気試験、ファーストトランジエント/ハート試験、サージ試験、電源周波数磁界試験、電圧ディップ/瞬停試験 等
車載機器 EMC 試験装置	テクノサイエンスジャパン(株)	放射エミッション試験：周波数範囲 30Hz～18GHz 伝導エミッション試験：周波数範囲 150kHz～108MHz（電圧法、電流プローブ法） 放射イミュニティ試験：周波数範囲 200MHz～3GHz（ALSE） 伝導イミュニティ試験：周波数範囲 100kHz～2GHz（BCI） 対応規格：CISPR25、ISO11452-2、ISO11452-4 車両メーカー規格 等
電源高調波試験装置	菊水電子工業 KHA3000	電源高調波試験：最大試験電圧 400V、単相・三相 15A フリッカ/電源変動試験：最大試験電圧 400V、単相 15A
ガス圧測定装置 表面粗さ測定機	(株)仲井製作所 Castio CI002 テラーホプソン Form Talysurf PGI Novus	測定チャンネル数：10 分解能：0.2nm 測定範囲：垂直方向 20mm、水平方向 200mm コラム駆動距離：450mm 最大搭載重量：10kg その他：粗さ、うねり、形状測定可能 試験機容量：250kN 試験速度：0.0001 ～ 508 mm/min クロスヘッド速度精度：変位の±0.01mm 又は ±0.05% 荷重測定精度：ロードセル容量の1/1000 まで読み値の±0.5%
万能材料試験機	インストロン 5985EXH	切断能力：300×395mm ノコ刃速度：10～150m/min テーブルサイズ：700×700mm 直線自動送り：有り 主軸：10000回転 作業面大きさ：600×400mm 最大積載質量：250kg 各軸移動量：X軸 300mm_Y軸 400mm_Z軸 300mm 工具収納本数：14本
コンタマシ	(株)ラクター LE-400	X線管ターゲット：Rh 試料寸法：250×200×150（H）mm 以内 測定可能元素：Na～U 測定項目：定性・定量・元素分布 RoHS対応：環境規制物質（Cd, Pb, Hg, Br, Cr）の定量
自動切削加工機	ブラザー工業(株) S300X2	
蛍光 X 線分析装置	(株)日立ハイテクサイエンス EA6000VX	

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
マイクロビッカース硬さ試験機	(株)フューチャテック FM-810	試験荷重：5～2000gf 圧子：正四角錐ダイヤモンド圧子 対物レンズ：5倍・10倍・50倍・100倍 加熱可能サイズ：500×500mm ヒーター波長：2.5μm 温度設定範囲：室温～420℃ 温度制御方式：放射温度計によるPID制御
中波長赤外線ヒーター	クリロシンフレッット・STC-BH-19001	3mmのCFRPを300℃まで加熱する時間：40秒
加熱ステージ付顕微鏡システム	シヤボンハイテック・19166	温度範囲：室温～420℃、倍率：×5, 10, 20, 50
鋳造シミュレーションシステム	クオリカ・JSCAST, エヌ・エス・ティ・Femap with NX Nastran Basic Bundle	流動解析、凝固解析、変形解析、熱応力解析
AE 装置	日本フィジカルアコースティック(株) アンプ型式：EDGE NODE DISCOVERY センサ型式：PK15I PKWDI	アンプ：ゲイン0～50dB 2ch センサ：PK15I 共振周波数 150kHz PKWDI 広帯域 1MHz
熱間埋込プレス機	丸本ストルアス・シトプレス-5	120～180℃、50～350bar
残留応力測定装置	リカク製・AutoMATE II、SmartSiteRS	コリメータ径φ1mm、Cr管球
ダイヤモンド成形機	Ring Maschinenbau GmbH MEMBRAL	成形サイズ：500×500×200mm、 加圧力：0.6MPa
万能試験機*	島津製作所 AG-IS100kN	秤量：1gf～10,000kgf
金属顕微鏡	ニコン・オプチフォト-100S	倍率：×50, 100, 200, 500, 1000
ICP 発光分光分析装置	日立ハイテクサイエンス・FHM22	波長範囲：130～770nm、多元素同時測定
蛍光 X 線元素分析装置*	HORIBA 製 XGT-5000WRS	Cd, Pb, Hg, Cr の定性分析 (RoHS 対応)
原子吸光光度計*	Thermo 製 SOLAAR M6	Cd, Pb, Hg, Cr の定量分析 (RoHS 対応)
レーザー顕微鏡*	(株)キーエンス VK9700/9710	焦点深度：7mm, 倍率：×200～18,000
電子ビーム表面加工装置*	(株)ソテック・EB300	ビーム直径：φ60mm
電解分析装置*	(株)ヤコ機器開発研究所	直流出力電流：5A
塩水噴霧試験機*	板橋理化学工業・BQ-1	塩水噴霧 R.T+10～50℃、湿潤+50℃ 95% 6軸
切れ味評価システム	三菱電機・RV-3SD	垂直多関節ロボット
高温弾性率等同時測定装置*	日本テクノプラス EG-HT	固有振動法による
自動摩擦溶接装置*	日立設備エンジニアリング SHH-204	最大垂力：30kN、テーブルサイズ：600×400mm
炭素硫黄分析装置*	堀場製作所 EMIA-320V2	炭素：0～6% (m/m)、硫黄：0～1% (m/m)
AC/DC 耐電圧絶縁抵抗試験機*	菊水電子工業 TOS9201	抵抗測定範囲：0.01MΩ～9.99GΩ
リーケージカレントテスター*	菊水電子工業 TOS3200	電気用品安全法等の規格要求に対応
パワーアナライザー*	横河電気 WT500	電圧測定レンジ：15V(rms)～1kV(rms)
デジタルマルチメータ*	岩通計測 VOAC7523	DC50mV～1kV、AC500mV～750V
低抵抗計*	三菱アナテック MCP-T610	定電流印加方式の4端子4探針法
高抵抗率計*	三菱アナテック MCP-HT450	定電圧印加方式の二重リング法
冷熱衝撃試験機*	日立アプライアンス ES-76LMS	試験温度範囲：低温-70～0℃、高温 60～200℃
レーザー形状測定器	(株)キーエンス KS-1100	測定範囲：100×100mm
接触角測定装置	協和界面化学 DM-501	測定精度：0.2°、分解能：0.1°
小型 CNC フライス盤	モティアシステムズ(株) MM100	動作範囲：100×100×100mm、4軸加工
ウォータージェット加工機	Flow FlowMach3	ストローク：XY軸 1,300mm、吐出圧力：378MPa
マイクロフォーカス X 線 CT システム	東芝 TOSCANER-32300μFD	X線管電圧：20～230kV 公称最小焦点：4μm
キャス試験機	スカ試験機(株) CAP-110	試験温度：50±1℃
X線光電子分光分析装置	アルバック・ファイ(株)PHI5000VersaProbe II	最小分析径：10μm 最高エネルギー分解能：0.5eV
万能材料試験機*	(株)東京衡機試験機 RUH-500SIV	電気油圧サーボ式、500kN、JIS 1級

機 器 名	メーカ・型 式	仕 様
フタル酸エステルスクリーニング装置*	島津製作所 GCMS-QP2020NX + Py-Screener	質量測定範囲：m/z[2~1090] マルチショットパイロライザー装備 フタル酸エステル類・臭素系難燃剤分析用ソフトウェア 対象元素：Mg から U まで 測定法：F P 法+エンピリカル法 最小測定範囲：φ3mm 材料ライブラリ：JIS, ASTM など 発光部：マーカス型ランプによる 13.56MHz 高周波グロー放電 (rf-GD-OES) パルススパッタリング適用可能 分析元素：H~U まで (ポリクロメーター 45 元素+モノクロメーター1 元素) 測定範囲：φ2mm, φ4mm, φ7mm 負荷力：1mN~1000N 運動方式：回転、直線往復 最大試験温度：回転-1000℃、直線往復-400℃ 回転数：0.1~5000rpm 直線往復速度(@ストローク)：60Hz@1mm, 30Hz@15mm, 20Hz@25mm(無負荷時) レーザ波長：1064nm レーザの出力：25W 最大繰り返し周波数：400kHz 試験力：0.005~2000mN (高荷重領域)・0.0005~10mN (低荷重領域) 荷重分解能：5nN 以下 (高荷重領域)・0.03nN 以下 (低荷重領域) 荷重印加範囲：最大 30kg スクラッチ速度：0.01~2mm/sec (0.01mm ステップ)
ハンドヘルド蛍光 X 線分析装置	日立ハイテクサイエンス X-MET8000 Expert	
高周波グロー放電発光分析装置	堀場製作所 GD-Profiler2	
高温摩擦摩耗試験機	ブルーカージャパン UMT-TnboLab	
レーザーマーカシステム	キーエンス MD-X2500	
微小押し込み硬さ試験機	エリオニクス ENT-NEXUS	
スクラッチ試験機	レスカ CSR1000	
赤外線サーモグラフィカメラ	日本アビオニクス InfReC R550Pro	測定温度範囲：-40℃~2000℃ フレームレート：最高 120Hz ハンディタイプ 温度精度：±1℃ 温度分解能：0.025℃at30℃
攪拌機	シンキー あわとり練太郎 ARE-500	100ml~最大 650ml の容器がセットでき、最大積載量は 1100g タイマー設定範囲：0 秒~30 分 スクリュー径 φ20mm 押出能力：MAX 1.0L/h
小型混練真空押出成形機	宮崎鉄工 FM-P20E 型	
(化学分野) 熱溶融特性測定装置キャピログラフ	(株)東洋精機製作所 キャピログラフ 1D PM D-C	試験温度：60~400℃ 荷重検出：~20kN
複合材料試験加工機 (二軸押出機)	(株)テクノバール ZR015TW-GF-LPT	本体：二軸押出 同方向回転方式 Φ15mm 400℃ フィルム作製：延伸倍率 1~3 倍 フィラメント：延伸倍率 1~6 倍 熱板サイズ：300×300 mm 温度調節範囲：室温~300℃ 最大ストローク：150 mm 最大加圧力：80 kN
熱プレス装置	(株)丸東製作所 ML-43-31	50kN ロートセル、引張試験・3 点曲げ治具等 倍率：5~300,000 倍 低真空度：10~100Pa ダブルヒーム方式、ゼーマン方式、フレームとファネス対応可
万能試験機用治具 小型低真空電子顕微鏡	インストロン社 2580-50KN 日本電子(株) JSM-IT100	
原子吸光分光高度計	日立ハイテクサイエンス ZA3000	

機 器 名	メーカ・型 式	仕 様
フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)	日本分光(株)FT/IR-6700 IRT-5200	測定波数範囲：7,800-350cm ⁻¹ 最高分解能：0.25cm ⁻¹ 以上
射出成形機	東芝機械(株)EC75SXIII-2A	型締力：75t
比表面積測定装置	マイクロトラック・ベル BELSORP-max II	比表面積(N ₂ 時：0.01m ² /g～)、細孔分布(直径：0.35～500nm)
蛍光 X 線分析装置	(株)リガク ZSX PrimusIV	波長分散型、分析元素範囲：Be～U
混練性測定装置*	ブラベンダー-PL2000-6 型	動力：6.5kW(8.8馬力)
熱特性測定装置*	テイ・エイ・インストゥルメント Q2468	測定温度範囲(本体)：室温～1,500℃ 測定温度範囲(DSC オフ・ショーン)：-90～500℃ 測定温度範囲(TMA オフ・ショーン)：-70～1,000℃ 測定温度範囲(粘弾性オフ・ショーン)：-150～600℃
熱分解ガスクロマトグラフ質量 分析計	島津製作所 QP2010Plus/PY2020iD	発生ガス分析、熱分解分析 分析質量範囲：m/z1.5～1,090
粒度分布測定装置*	日機装・大塚電子 MicrotracMT3300EX II /ELS Z	粒径：0.6nm～2800μm ゼータ電位：-200～200mV
高温 GPC*	東ソー HLC-8121GPC/HT	測定対象高分子：主に PE、PP
マルチインテグサー	東洋精機製作所 F-F01	MFR 測定範囲：0.5～300g/10min 測定温度範囲：100～350℃
接触角計	協和界面科学 DMsHR-400	水滴接触角、拡張収縮法
小型ハイブリッド成形機 (繊維分野)	日精樹脂工業 NPX7-1F 型	型締力：7トン
分光測色器	コニカミノルタ CM-3600A	di:8°、de:8°、360～740nm
接触圧測定装置	(株)エムエスアイ・テクノ AMI3037-10-II	方式：エアバック式 測定チャンネル：10 エアバック：0～35kPa φ20mm その他：テークローガー、制御 PC 付き
熱伝導率測定装置	テイ・エイ・インストゥルメント FOX200	定常法・熱流計法 熱伝導率測定範囲：0.005～0.35W/m・K
保温性試験機	大栄科学精機製作所 ASTM-100B	JIS L 1096 保温性 A 法 (恒温法)
横編試験機(テッサインシステム 込)	島精機製作所 SWGN ₂	最大 90cm、7G、15G
前紡試験機	インテック TSM-IT	切断、開繊、混紡、カード機能
マルチフィラメント紡糸装置	中部化学機械 ホリマーメイトV型	紡糸可能デニール：2～30 デニール
サンプル不織布機	大和機工 サンプルカート、クロスレイヤー、ニードル ルーム	製造巾：360mm
高温高圧染色機	ニッセン 1LUP-FE	1kg チース、最大設定温度：140℃
高温高圧液流染色機	MINIJETMJJD700	温度：130℃
収縮テスト用プレス機	JUKI JMC-727-5S	JIS L 1042 H1～H4 に適合
環境試験室	タハ・イエスバック TBR-4N1DP	-10℃～60℃
KES 風合い測定システム	カトーテック KES-FB1 KES-FB2 KES-FB4 KES-G5 KES-F8-AP1	引張・せん断試験機 純曲げ試験機 摩擦表面・粗さ試験機 圧縮試験機 通気度試験機
システム顕微鏡	オリンパス光学工業 BX50 SZ1145TR	透過型光学顕微鏡倍率：×10～400 反射型光学顕微鏡倍率：×10～200
摩擦帯電圧測定器	大栄科学精器製作所 RS-101DS	JIS L 1094B 法による摩擦帯電圧測定
精密迅速熱物性測定装置	カトーテック KES-F7(サーモラボ II B)	冷温感評価値 q max：精度 0.001J 以上、 熱伝導率、保温性：精度熱流損失値： 0.001W 以上
赤外線熱画像解析装置	日本アビオテックス R300	温度測定範囲：-20℃～500℃
燃焼性試験機	スガ試験器 FL-45MC	JIS L 1091 最大測定荷重 5kN
万能材料試験機	島津製作所 AGS-5kNJ	紫外線カーボンアーク灯光
耐光試験機	スガ試験機 U48AU	

機 器 名	メーカ・型 式	仕 様
紫外可視近赤外分光光度計	日本分光 V-670	測定波長：190～2700nm(積分球 φ60mm 使用時 200～2500nm)
マチンテール摩耗試験機	インテック モデル 902	摩耗試験機 JIS L 1096 マチンテール方式
酸素指数燃焼性試験装置	スカ試験機 ON1	JIS L 1091 酸素指数法試験
引裂き試験機	インテック IT-DT	JIS L 1096 ペンジエラム法
カーボン筒編機	圓井繊維機械 CK-N	6本針
遮光性試験機	インテック LE-1	JIS L 1055 対応
サイジングワインター	ヤマダ YS-6	2 鍾仕様、乾燥温度：～80℃
熱プレス機	井元製作所 IMC-1A46-A	450×450mm、～30ト、～300℃
織度測定器	サーチ DC-21A	測定範囲：0.8～300d
炭素繊維用小幅織機	トヨシマビジネスシステム 織華 TNY101A-20T	炭素繊維：1K, 3K, 6K, 12K, 24K
ドラム式洗濯機	エレクトロラックス FOM71CLS	JIS L 1930：2014 附属書 A A1 形
タンブル乾燥機	ジエムスヒールアキュトライ 3	JIS L 1930：2014 附属書 G A1 形
GPC システム	日本ウォーターズ Alliance	オートサンプリャ付、カラム温度範囲：室温～60℃
速乾性試験装置	早坂理工 TS-2016	電子天秤 繰り返し性 0.1mg 温湿度センサー ±0.2℃、±1.3%rh パソコン、専用ソフト
(紙分野)		
恒温恒湿槽	日立アプライアンス(株) EC=86MHPE	温度範囲：-40℃～150℃ 湿度範囲：20～98%Rh 寸法(内部)：W 800×L600×H700
破裂試験装置	熊谷理機工業 BURSTING TESTER A 型、C 型	低圧破裂試験：最大圧力 2MPa 加圧速度 95 ml/min JIS P-8112 高圧破裂試験：最大圧力 5MPa 加圧速度 170ml/min JIS P-8131
縦型回転式オートクレーブ	熊谷理機工業 VERTICAL ROTAR AUTOCLAVE No. 2615	容積：13L 最大圧力：1.5MPa 回転数：2rpm 容量：30L 回転数：1500rpm
遠心脱水機	(株)チカラエンジンリンク	抄紙寸法：240mm×1,000mm
実験用配向性抄紙機	熊谷理機工業 No. 2543	抄紙寸法：250mm×250mm 吸引タンク付
タッピングシートマシン	熊谷理機工業 No. 2555	JIS P8221-1:1998 附属書 A(規定) ヒーター
ナイガラヒーター	熊谷理機工業 No. 2506	容量：23L ウォッシュドラム付
ナギナタヒーター	梅原製作所	容量：140L
ディスクリファイナ	熊谷理機工業 KRK 型	最高：3,000rpm、ディスク：A～K
スリットマシン	西村製作所 KL+WT121C	スリット幅：1mm、1.5mm、パラレル巻き
繊維長分布測定装置	ローヴェン&ハットレー Fiber Tester 912	繊維長：0.2～7.5mm、繊維幅：10～100μm
貫通細孔分布測定装置	ポラスマテリアル CFP-1200AXL	0.05～500μm、空気、液体透過性
平滑度試験機	熊谷理機工業 No. 2041	50.7→29.3kPa、0.0～999.9 秒表示
テーパード式ステフネススター	東洋精機製作所 No. 155 型式 D	デジタル表示
紙厚試験機	東洋精機製作所 No. 201	50/100kPa 切替式、デジタル表示
石臼式摩砕機	増幸産業 MKCA6-2	砥石粒度 16/46/80 番手交換可能
エレメント引裂試験機	熊谷理機工業 No. 2033	デジタル表示
ガーレー式透気度試験機	東洋精機製作所 No. 158	空気透過量 25/50/100/200/300mL 切替式
光沢度計	日本電色工業 VG7000	20°、45°、60°、75° から選択 75° は ISO 光沢度
ISO 白色度計	日本電色工業 PF7000R	JIS P8148：200 紙、板紙及びパルプーISO 白色度(拡散青色光反射率)の測定方法
(情報分野)		
データ収集プラットフォーム	三菱電機(株)LIPC MI5000	型式：MI5122-VW Intel Core i7-5700EQ 2.6GHz (Quad Core)×1 メモリ：12GB、OS:Windows10 IoT Enterprise 2016

機 器 名	メーカ・型 式	仕 様
カーボンファイバー対応 3D プリンター	Markforged 社 MarkTwo	造形可能サイズ：320(X)x132(Y)x154(Z)mm 積層ピッチ：0.1mm (ファイバーを使用する場合は 0.125mm) 補強ファイバー材：カーボンファイバー、グラスファイバー、ケブラー
データ解析用ワークステーション	GDEP アドバンス MAS-XW-621G/4X	CPU：Xeon Silver 4114 x 2、GPU：Tesla V100 32GB、Memory：192GB
スペクトラムアナライザ*	Tektronix 社 RSA3308A	周波数範囲：DC～8GHz 分解能帯域幅：1～10MHz
回路解析装置*	Agilent Technologies 社 E5071B	周波数範囲：300kHz～8.5GHz ダイミックスレンジ：122dB 対象 CPU：SH4
三次元造形機*	Stratasys 社 FORTUS 360mc-L	造形可能サイズ：406(X)×355(Y)×406(Z)mm 積層ピッチ：0.254mm、0.127mm 対応 CAD フォーマット：STL
樹脂流動解析システム	Autodesk Simulation Moldflow Insight Premium 2014	解析内容：充填＋保圧解析、冷却解析、反り解析、冷却(FEM)解析、繊維配向解析、結晶化解析、コアソフト解析、応力解析
超音波フェーズドアレイアンテナ	日本ナショナルインスツルメンツ(株)	デジタル入出力：16チャンネル 12bit A/D コンバータ 32チャンネル サブリンク周波数：50MHz LaboView
赤外線サーモグラフィ	日本アビオニクス(株)InfReC R500EX-Pro	測定温度範囲：-40℃～2000℃ 温度分解能：0.025℃ at 30℃ 検出器画素数：640(H)×480(V)画素 オプション：2倍視野拡大レンズ
広帯域デジタルオシロスコープ	RHODE&SCHWARZ 社 RT02044	入力チャンネル：4入力 周波数帯域：4GHz アクティブプローブ：2本
高機能デジタルオシロスコープ	Tektronix 社 MD04045C	入力チャンネル：4入力 周波数帯域：500MHz 3GHzスペクトラムアナライザ機能、16CHロジックアナライザ機能、通信プロトコル解析機能
AI 開発用ワークステーション	NVIDIA DGX STATION	GPU：4×Tesla V100 GPU メモリ：128GB
樹脂粉末三次元造形システム	HP Inc. Jet Fusion 540	使用材料：PA12 (ポリアミド 12) 最大造形寸法：332×190×248mm レイヤー厚：0.08mm 解像度：1200dpi

*：本物件は（公財）JKA（旧 日本自転車振興会）の補助事業により導入したものである。

6 定期刊行物

岐阜県産業技術総合センター研究報告（年 1 回、ホームページ掲載）

岐阜県産業技術総合センター年報（年 1 回、ホームページ掲載）

産業技術総合センター情報誌（年 12 回程度、ホームページ掲載）

7 利用案内

依頼試験：機械金属、化学、繊維、紙、複合材料、情報分野における、強度・耐久試験、成分分析、計測等を実施し成績書を発行（有料）。

開放試験：企業等の研究、製品開発のため、機器類の開放利用を実施（有料）。

技術相談支援：機械金属、化学、繊維、紙、複合材料、情報など各分野の技術職員が常駐し、多種多様な技術相談・支援を随時実施（無料）。

〈巡回技術支援、緊急課題技術支援、新技術移転促進等〉

共同研究：企業と当所がそれぞれの得意分野を分担して研究を実施（企業分は企業が負担）。

受 託 研 究： 企業等の新技術や新製品の開発のため、委託を受けて研究を実施（有料）。

そ の 他： 試験研究機関研修生受入要領に基づき研修生を受入、指導（無料）。

中小企業向けの技術研修や講演、講習会により企業の人材育成を支援（一部有料）。

8 相談窓口

E-mail アドレス info@gitec.rd.pref.gifu.jp

ホームページ <https://www.gitec.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

岐阜バス 岐阜から赤土坂まで 岐阜関線（42分） 「赤土坂」下車 徒歩10分

岐阜バス 名古屋から赤土坂まで高速名古屋線（72分） 「赤土坂」下車 徒歩10分

東海北陸自動車道 「関IC」より車で10分

東海環状自動車道 「関広見IC」より車で10分

長良川鉄道 「関駅」下車 4km タクシー10分

【地域産学官共同研究拠点「ぎふ技術革新センター」】

1 設置目的

航空機・自動車向け軽量強化部材（CFRP：炭素繊維複合材）や環境調和型製品、高度医療機器、機械金属等を主な対象分野に、共同研究や人材育成、機器利用などを通じ、企業の優れたモノづくり技術やノウハウを成長分野へ展開し、産業構造の多様化・高度化を目指す。

2 設置場所： 岐阜県産業技術総合センター内

3 運営開始： 平成23年6月より

4 主な活動

- ①共同研究 航空機・自動車向け軽量強化部材など成長分野に関する研究開発
- ②人材育成 人材育成事業の実施、研究所・企業等による研修・講演会の開催
- ③共同機器利用 最先端設備（40機）の共同研究や企業、研究者等への開放
- ④産学官連携推進 共同研究の企画立案、企業ニーズとシーズのマッチング強化

5 参画機関：

岐阜県、岐阜大学、名古屋工業大学先進セラミックス研究センター、大同大学、岐阜工業高等専門学校、岐阜県工業会、岐阜県経済同友会、岐阜県機械金属協会、航空機・自動車・医療機器関連企業 等

6 主な開放加工・試験機器（詳細はホームページ参照）

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
5 軸 NC 加工機	ヤマザキマザック製 VARIAXIS630-5X II、 JBM 製 MasterCam、シンプルテック製 NCVIEWNeo、牧野フライス製 MetalMAX	最大ワーク寸法 φ730×500 mm、 集塵装置、CAD/CAM、切削解析機能 等
電動サーボプレス	放電精密加工研究所製 ZENFormer MPS675DS	ストローク 0～100 mm、最大加圧能 力（インナー/アウター）： 245(25)/490(50)kN(tonf)、NC 制御 常用温度 180℃以下、温度制御範囲 60～190℃、缶内寸法直径 900 mm、 長さ 1,000 mm
小型オートクレーブ	芦田製作所製オートクレーブ	ヒートプラテン搭載、プラテン寸法 1,200 mm×1,200 mm、赤外線予備加 熱炉、自動成形機能付
ホットプレス	PEI 社複合材成形用 500 トン油圧プレス シン	シングルモード、平均出力 1kw 以 下、コア径 φ20 μm、3次元加工テ ーブルサイズ 500×500 mm
3次元レーザー加工機	ROFIN 製 FLO10S	振動数範囲 5～2,000Hz、最大搭載 量 500kg
振動試験装置	エミック製 F-100k-BEH/LA100AWW	ビーム最小加速電圧 1kV 以下、最大 加速電圧 30kV 以上、顕微鏡分解能 1.2nm 以下、3nm 以下等
集束イオンビームー高分 解能走査電子顕微鏡複合 装置	日本電子製複合ビーム加工装置 JIB- 4600F、反射電子検出器 IB-24020 RBEI	分解能 3nm 以下、走査倍率 40～ 3,000,000 倍以上、光学顕微鏡分解 能 1 μm 以下、倍率 600 倍以上
フィールドエミッション 電子プローブマイクロア ナライザ	日本電子製 FE-EPMA JXA-8530F	測定範囲 900 mm×1300 mm×600 mm以 下、測定精度 1 μm 以下。非接触測 定速度 200,000 点
3次元測定機(非接触含む)	カールツァイス社 PRISMO ultra9/13/7 VAST gold、非接触式 3次元測定機 LineScan	空間分解能 8nm 以下、ビーム電圧 0.1～25kV 連続可変、倍率 45～ 500,000 倍まで連続可変
オージェ電子分光分析装 置	アルバック・ファイ社 PHI700Xi	走査範囲 600mm×600mm×300mm、反 射法・透過法、A スコープ、B スコー プ、C スコープ表示
超音波検査装置	日本クラウトルーマー製 SDS-Win6600R AM	

岐阜県食品科学研究所

所在地 〒501-1112 岐阜市柳戸1番1

電話 (058)201-2360

F A X (058)201-2363

所長 稲葉 昭夫

設立 平成31年4月1日

職員数 17名（うち研究員数12名）

土地面積 2,660.45㎡

建物延面積 2,633.52㎡

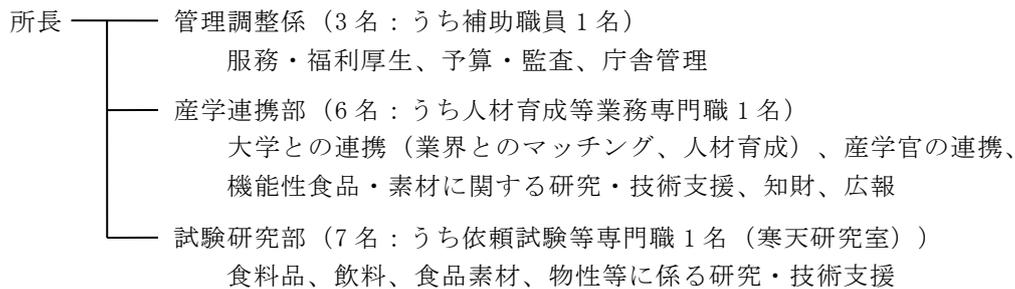
対象業種又は技術分野 食品加工業界を対象。清酒・味噌・醤油などの醸造・発酵技術や寒天、米菓、その他地域食材を用いた食品加工技術、ならびに食品の機能性の分析・評価技術。

1 設置概要(目的、経緯等)

岐阜県では「食料品分野」を成長産業と位置付け、付加価値の高い健康食品を製造する食品業界や特徴的な清酒等を製造する醸造業界などの産業振興を推進している。食品科学研究所は、その中核的な役割を担う県の機関として、地域の食品産業及び関連企業等の支援とともに、地域食材等を活かした研究開発、実践的教育・人材交流による専門人材育成等を行う新たな拠点として平成31年4月1日に設立。

当研究所はライフサイエンス分野（医薬獣農工）の一大クラスターを形成している岐阜大学エリア内に位置し、学官が一丸となって食品科学分野に関する先端的な研究開発や企業の新製品開発等を促進し、食品産業の発展に貢献することを目指している。

2 組織



※他に兼務者2名：産業技術課本務1名、畜産研究所本務1名

3 重点分野

(1) 地域食材等に関する研究開発

- ・県内食品企業が求める食品素材の探索から、評価、試作まで一貫した研究開発
- ・清酒などの醸造・発酵試験や、官能評価、試作品の分析や味、色、香りなどの評価
- ・食品の微生物検査や簡易的な動物細胞の培養観察のほか、酵母や乳酸菌などの微生物を利用した食品開発
- ・レトルト殺菌装置や燻製器、乾燥機等による地域食材を使った食品の試作加工

(2) 機能性食品に関する研究開発

- ・産学官が一体となり、食品の付加価値向上や新たな機能性食品を開発
- ・抗酸化、抗アレルギーなどの機能性を有する食品や、食品から発する香り成分など各種有効成分の分析

(3) 食品分野に関する技術支援

- ・受託研究や共同研究などによる産学官連携
- ・技術相談や依頼試験、開放試験室による技術支援
- ・専門知識や技術を持つ人材（食品開発プロモータ）の派遣による、新商品開発や課題解決の支援

(4) 実践的教育・人材交流による専門人材の育成

- ・技術者研修、研究会活動などによる人材育成
- ・食品加工、製造などの実践的カリキュラムの強化、学位取得など社会人技術者への知的支援

4 主要研究テーマ

- (1) 地場産業の技術承継・新商品開発プロジェクト研究課題
県産米を有効活用した岐阜ブランド商品の開発
- (2) 新価値創造によるサステイナブル社会推進プロジェクト研究課題
有用微生物の探索と機能性食品の開発に関する研究
- (3) 重点研究開発課題
海外展開に向けた県産酒類の開発
- (4) 地域密着型研究課題
もやしの新機能開発

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
超高速高分離液体クロマトグラフ光学・質量検査システム ヘッドスペースガスクロマトグラフ 香気成分分析装置	日本ウオーターズ ACQVITY UPLC H-Class Agilent7980B GCシステム ゲステル におい分析システム	PDA 検出器, QDa 質量検出器 ヘッドスペースガスサンプラー、FID 検出器 多機能オートサンブラ付 GC-MS
リアルタイム PCR システム	サーモフィッシャーサイエンティフィック ライフテクノロジーズジャパン StepOne	フォトダイオードアレイ検出器、容量 0.1 mL × 48 ウェル対応
高速液体クロマトグラフ	日本ウオーターズ Alliance HPLC	フォトダイオードアレイ検出器、示差屈折率検出器
有機酸分析装置	日本分光 LC-2000Plus	ポストカラム誘導体化法
糖鎖分析装置	日本分光 PU-980	蛍光検出器、示差屈折率検出器
ゲル物質物性測定装置	タバイエスペック PR-3ST	粘度、ゲル強度
デジタルマイクロスコープ	キーエンス VHX-900	20-1000 倍観察
高速冷却遠心機	ベックマン・コールター Avanti HP-26XP	アングル式 (50-1000ml)、スイング式 (15-50ml)
水分活性測定装置	ノバシーナ LabMaster-aw standard	電気抵抗式湿度センサー、恒温槽内蔵
卓上走査型電子顕微鏡*	日立ハイテクサイエンス Miniscope TM3030	15-30,000 倍観察(反射電子像, 低真空専用)EDX 付属(分析元素:5B~92U 1)
水蒸気蒸留装置	ゲルハルトジャパン VAP200	ケルダール自動蒸留、蒸留時間約 3.5 分
原子吸光分光光度計	日立ハイテクノロジーズ Z-2010	光学系 ダブルビーム方式、ゼーマン方式、フレイム測定 高温対応、微量測定可能、ファーンレス測定 室温~2,600℃
紫外可視分光光度計	日本分光 V-750	シングルモノクロメーターダブルビーム方式、測定波長範囲 190~900nm、バキュームシッパ、一滴測定ユニット付属
熱分析装置	日立ハイテクサイエンス DSC7000X、STA7200RV	オートサンブラ、温度変調測定可 (DSC7000X)、試料観察測定可 (STA7200RV)
マイクロプレートリーダー	コロナ電気 SH-9000Lab	対応プレート 6、12、24、48、96、384 ウェルプレート
フーリエ変換赤外分光光度計	日本分光 FT/IR-6200	シングルビーム、密閉型、波数 7,800~350cm ⁻¹ 、ライブラリ搭載、赤外顕微鏡
清酒用総酸度測定装置	京都電子工業 AT-710S	電位差自動滴定
酒類用アルコール分析装置	京都電子工業 全自動SDKシステム	多検体オートサンブラ、振動式密度比重計
粒子計数分析装置	シスメックス CDA-1000B	電氣的検知帯方式 100 μ m アパチャー

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
穀粒判別器	静岡製機 (株) ES-V	光学系固定式試料落下読取方式
ラピッドビスコアライザー	Perten Instruments RVA4800	粳米、酒米、餅米、粳精米用 食品の粘度特性測定 高温モード (最大 140℃)
食品物性測定装置	サン科学 SUN RHEO METER CR-3000EX-S	破断強度測定、クリープ測定、応力測定、 定深度測定、歪み率測定
ショックフリーザー	ホシザキ HBC-6TB3	収納数 1/1 ホテルパン (深さ 65mm) 6 枚、 庫内温度制御-40～30℃
真空凍結乾燥機	東京理科器械 FD-550P	除湿量 10 L、予備凍結槽温度-30℃、乾 燥棚温度プログラム付き
ニーダー	カジワラ KQSV-1E	缶体容積 150 L、缶体材質 SUS304 (缶内 および接液部は SUS316)
レトルト殺菌装置	パナソニック産機システムズ FCS-KM76	処理量 250～300cc のパウチ 30～45 袋 、処理温度 70～121℃ (96～100℃ 不可)
燻煙機	大道産業 SU-50F	能力 5～8kg (ソーセージ)、煙材 スモ ークウッド
精米機	新中野工業 RP-5D	醸造用縦型精米機、金剛ロール、張込量 60kg
麴室	新洋技研工業	製麴量 20kg、パネルヒーター
清酒醸造用タンク	新洋技研工業 サーマルUSタ ンク30型、180型	タンク容量 36L (30 型)、200L (180 型)、 ブライン冷却式、底部ヒーター付き
恒温恒湿機	ナガノサイエンス LH34-15P	温湿度制御+10～85℃/20～98%R. H. 内容量 800L

*: 本物件は (公財) JKA (旧 日本自転車振興会) の補助事業により導入したものである。

6 定期刊行物

岐阜県食品科学研究所研究報告 (年 1 回、ホームページ掲載)

岐阜県食品科学研究所年報 (年 1 回、ホームページ掲載)

情報誌 (年 2 回程度、ホームページ掲載)

7 利用案内

依 頼 試 験: 依頼により、成分分析、微生物試験、食品物性等試験や微生物資源 (酵母) の頒布を行
っている (有料)。

開 放 試 験: 開放機器を設置し、関係業界の利用の便を図っている。

主な設備は以下のとおり (有料)。

〈食品加工開放試験室〉

主要設備: 有機酸分析装置、糖鎖分析装置、遠心機、蒸し器、燻煙機、レトルト殺
菌装置、真空凍結乾燥機、水分活性測定装置、低真空電子顕微鏡など

技術相談支援: 来所または電話等により受け付け、企業等現場での技術支援を行っている (無料)。

〈巡回技術支援、緊急課題技術支援、新技術移転促進等〉

共 同 研 究: 県の共同研究実施要領により企業との共同研究を実施している (企業分は企業負担)。

受 託 研 究: 企業等の抱える技術的な課題を、委託を受けて研究を実施している (有料)。

そ の 他: 試験研究機関研修生受入要領に基づき食品業界等について受入、指導 (無料)。

中小企業向けの技術研修や講演、講習会により企業の人材育成を支援 (一部有料)。

8 相談窓口

E-mail アドレス info@food.rd.pref.gifu.jp

ホームページ <https://www.food.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

岐阜バス JR 岐阜駅または名鉄岐阜駅よりバス (C70 系統、N45 系統) (35 分) 「岐阜大学」下車
徒歩 5 分 (岐阜大学構内)

岐阜県セラミックス研究所

所在地 〒507-0811 多治見市星ヶ台3丁目11番地
電話 (0572)22-5381 FAX (0572)25-1163
所長 棚橋 英樹 設立 明治44年(平成18年改称)
職員数 14名(うち研究員数12名)
土地面積 16,524m² 建物延面積 4,254m²
対象業種又は技術分野 陶磁器、ファインセラミックス、耐火物、窯業原料

1 設置概要(目的、経緯等)

明治44年、岐阜県産業課陶磁器試験分室として設置され、大正13年、商工省の許可を得て、岐阜県陶磁器試験場となる。平成11年、岐阜県セラミックス技術研究所に、平成18年にはセラミックス研究所と改称し、セラミックス産業・技術を包括する中核的な機関として、「地域産業の振興と育成」、「役に立つ研究開発と質の高い技術支援」を目標として、また、「売れる商品づくり」をモットーに、陶磁器及びファインセラミックスに関連する分野を対象に、原料から製造・製品にいたるプロセス技術及びデザインについて研究開発、技術支援を行っている。

2 組織

所長	管理調整係(2名)	・人事、予算、給与、財産管理、福利厚生 他部に属さない事項
	研究開発部(6名)	・創造的なセラミックス製品・技術を創出する研究開発 先端セラミックスに関する基盤技術の確立と研究基盤の整備
	技術支援部(5名)	・セラミックス産業の高度化と新分野進出を技術支援 技術指導・相談、人材育成、情報の収集・提供

3 重点分野

- (1) 陶磁器製品の競争力強化
 - ・気孔制御や表面改質、材料特性制御により新機能付与・高機能化製品を開発する。
 - ・「ブランド化」を見据え、ITを用いた消費者へのPRツールを開発するとともに、素材やデザイン面から製品の高品質化を図る。
- (2) 陶磁器技術の高度化
 - ・生活様式の変化に対応した陶磁器(飲食器)評価手法の確立、JIS等標準化を行い、品質管理手法の普及を通じた安全・安心な製品づくりに貢献する。
 - ・多品種少量生産に対応可能な短納期生産システムを構築し、これを普及させる。
 - ・省エネ生産技術(焼成炉・窯道具を含む)を開発し、これを普及させる。
- (3) 伝統産業技術の維持
 - ・未利用原料の特性評価、リサイクル材料の活用により、陶磁器原料の確保への対応を行う。
 - ・技術者研修等により熟練者・技能者の技術力の維持・確保、体験教室による次世代に対する陶磁器への興味を喚起。
- (4) 新分野への進出
 - ・セラミックス材料への機能性付与により、金属等加工機器部材、自動車部品用部材等への応用展開を行う。
 - ・無焼成固化プロセスの制御技術を開発により、低環境負荷材料、新規構造用材料等への技術展開を行う。

4 主要研究テーマ

- (1) プロジェクト研究課題
 - ・省エネルギー技術に貢献するセラミックス熱交換部材の開発(研究開発部)
 - ・機能性ナノ複合粒子の活用技術の開発(研究開発部)

- ・陶磁器の鋳込み成形技術のデジタル化とその応用（技術支援部）
 - ・シミュレーションを活用したセラミックスの設計・評価技術の確立（研究開発部）
- (2) 重点研究課題
- ・セラミックスの成形技術の高度化（研究開発部）
- (3) 地域密着型研究課題
- ・高付加価値食器の開発（技術支援部）
 - ・タイル製品の品質（外観）検査手法の提案（技術支援部）
 - ・新ニーズを創出する素地・釉開発（技術支援部）
 - ・粘土鉱物を用いた超親水性材料の開発（研究開発部）

5 主要研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
蛍光 X 線分析装置	理学電機工業(株) ZSX100e	B ₍₅₎ ～U ₍₉₂₎ まで
X 線回折装置	理学電気 ULTIMA-IV	最大出力 3KW
走査型電子顕微鏡	日本電子(株) JSM-7001GC	倍率×20 ～ ×1,000,000
X 線マイクロアナライザー	日本電子(株) JED-2300GC	エネルギー分散方式
走査型プローブ顕微鏡	日本ビーコ(株)MMAFM 型ナノスコープIV	120 μm×120 μm×6 μm
粒度分布測定装置	(株)島津製作所 レーザー回折	0.2～100 μm
熱膨張測定装置	マックサイエンス TD5110S, TD5120S	室温～1000℃、1500℃
インパクト試験機	(有)リサーチアシスト	ASTM C368 準拠
高温ホットプレス	富士電波工業(株) FVPHP-R-5	5 トン、2200℃
分光光度計	日本分光(株) V-670	測定波長域 200～2500nm
原子吸光光度計	(株)日立ハイテクノロジーズ Z-2000	フレーム・グラフアイトファーマス両用
レーザー顕微鏡	(株)キーエンス VK-X1100	表示分解能：1nm（幅）、0.5nm（高さ）
高周波プラズマ発光分光装置	(株)島津製作所 ICPS-8100	分解能：0.0045nm
高温熱伝導測定装置	NETZSCH 社 LFA467HT HyperFlash	温度範囲：室温～1250℃

6 定期刊行物

- 岐阜県セラミックス研究所研究報告（冊子、ホームページ掲載）
 岐阜県セラミックス研究所年報（ホームページ掲載）
 GCI（ニュース）（配布、ホームページ掲載）

7 利用案内

- 依 頼 試 験：原材料、製品等の試験を行い、成績書を発行（有料）。
 開 放 試 験：技術開発、製品開発のための当所機器類の利用（有料）。
 技術相談指導：技術・デザイン開発等について現地指導を実施（無料）。
 受 託 研 究：企業等の技術・研究開発を支援するため、委託を受けて研究を実施（有料）。
 共 同 研 究：企業と当所がそれぞれの得意分野を分担して研究を実施（企業分は企業が負担）。
 そ の 他：試験研究機関研修生受入要領に基づき窯業全般について受入、指導（無料）。
 中小企業向けの技術研修や講演、講習会により企業の人材育成を支援（一部有料）。

8 相談窓口

- E-mail アドレス info@ceram.rd.pref.gifu.jp
 ホームページ https://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp/

9 交通案内

- JR 中央本線「多治見駅」下車 タクシー15分
 東鉄バス滝呂台線・学園都市線「総合グラウンド前」下車 徒歩3分
 東海環状自動車道「土岐南多治見 IC」より車で10分
 中央自動車道「多治見 IC」より車で20分

岐阜県生活技術研究所

所在地	〒506-0058 高山市山田町 1554 番地		
電話	(0577)33-5252	F A X	(0577)33-0747
所長	長谷川 良一	設立	昭和 12 年 (平成 10 年改称)
職員数	15 名 (うち研究員数 12 名)		
土地面積	17,493 m ²	建物延面積	2,698 m ²
対象業種又は技術分野	複合材料、木質系材料、住宅、住環境、福祉用具・機器、デザイン、人間生活工学、環境・リサイクル、材料・製品試験検査等		

1 設置概要(目的、経緯等)

岐阜県生活技術研究所は、家具装備品製造業、木材・木製品製造業を対象に原材料、生産加工、表面処理、デザイン等の各分野の試験研究を行うことを目的とした岐阜県工芸試験場を前身としている。従来から担当してきた素材技術、生産技術等の分野に加え、人間と製品及び住環境のあり方に関して、人間生活工学的評価に基づく、生活者からみたモノづくりや製品企画・評価を中心とし、福祉用具開発、住環境計測、エコマテリアル技術開発等を主とした生活関連産業を支援する研究機関である。

2 組 織

所長	管理調整係 (3 名)	・人事、予算、経理、財産管理等
	試験研究部 (10 名)	・木質材料グループ (材料開発、改質に関すること) ・生産技術グループ (木材加工に関すること) ・製品評価グループ (家具、人間工学に関すること)

3 重点分野

- (1) 人間特性や感性に適合した生活製品の創出
 - バリアフリー・ユニバーサル機能を付与した製品開発
 - 高齢者及び障害者の身体機能や運動能力を考慮したバリアフリー製品開発や、健常者にとっても快適で安全便利な製品機能の共有化を目指したユニバーサル機能の付与された製品開発を行う。
- (2) 快適で暮らしやすい住環境を生み出す材料・技術の開発
 - 人、地球にやさしい快適な住環境材料・技術開発
 - 人間生活の質を高める安全、快適な材料開発及び、資源・エネルギー等周辺環境への配慮を有する住環境形成材料・技術開発を行う。
- (3) 地域の生活関連産業を支援育成する研究基盤の創出
 - 人間の生活動作データベースの開発
 - 生活製品を開発する産業にとって設計の基礎となる、製品の使いやすさの評価や感覚系・力学系の人間工学データベースを蓄積し、企業の製品開発を技術支援する。

4 主要研究テーマ

- (1) 新価値創造によるサステイナブル社会推進プロジェクト研究課題
 - ① 伝統技法と CNC 加工による新たな家具製造手法の確立
- (2) 地場産業の技術承継・新商品開発プロジェクト研究課題
 - ① 木材の質感を伝達する製品提案手法の開発と家具製品への応用
- (3) 中小製造業におけるモノづくりスマート化推進プロジェクト研究課題
 - ① 家具用曲げ木の製造現場におけるスマート化
- (4) 重点研究課題
 - ① 木材乾燥における芳香蒸留水の有用成分利用
 - ② 介護ニーズに基づくポジショニング用品の開発
- (5) 地域密着型研究課題
 - ① 超撥水処理による木材の耐水性向上

- ② 年輪構造に着目した幅接ぎ集成板の変形抑制技術の開発
- ③ 国産早生樹種の用材利用に向けた材質・加工特性の解明
- ④ 木材の触覚特性の数値化と手触り感に関する指針の提案
- ⑤ 家具製造現場におけるトレーサビリティ基盤技術の開発

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・形式	仕 様
椅子強度性能試験機	(株)前川試験機製作所・SFT-03-10特注	最大500Kgf, 油圧サーボ式荷重, 変位制御
家具強度試験機	(株)前川試験機製作所・SFT-5-50特注	最大50KN, 油圧サーボ式荷重, 変位制御
万能試験機	(株)島津製作所・UH-100KNC, UH-X	最大荷重: 100kN
大型ダブルチャンバー式環境試験室	エスペック(株)・TBL	-20~+60℃, 10~95%RH, 寸法: 幅2,000×高さ2,800mm
VOC分析装置	(株)パーネソエルマ・TurboMatrix650ATD	2段階サーマルテンプレーション, 脱着温度: 50~400℃
キセノンウェザーメータ	スガ試験機(株)・SX75-WAP	波長範囲: 300~400nm, 180W/m ²
マイクロスコープ	キーエンス(株)・VH-X100	レンズ倍率: ~800倍, 211万画素
顕微赤外分光光度計	日本分光(株)・FT-IR4200	測定波数範囲: 7,800~350cm ⁻¹ , 32倍顕微FT/IR
ガスクロマトグラフ質量分析計	(株)島津製作所・QP2020NX	質量範囲1.5~1090u、におい嗅ぎ装置付
自記分光光度計	日本分光(株)・V-560DS	波長範囲: 190~900nm, 150φ積分球付
熱伝導率測定装置	英弘精機(株)・HC-074/200	測定範囲: 0.005~0.35W/(m・K)
音響透過損失測定装置	(株)小野測器・特注	小型残響室2室, 1/3オクターブ解析
材質特性評価装置	(株)島津製作所・AG-50KNIS	最大負荷50kN, 定盤900×900, クロスハットφ0~1000
高周波加熱乾燥装置	山本ビニター(株)・RHT-1型	出力: 3kW, 周波数: 13.56MHz, 電極板850mm×350mm
脊柱形状分析器	INDEX(有)・Spinal Mouse	測定項目: 脊柱形状, 可動域, 椎体間角度
レーザー組織血液酸素モニター	オメガウェーブ・BOM-L1TRW	測定項目: OXYHb, deOXYHb, StO ₂ 等
注視点解析装置	(株)ナックイメーজテクノロジー	帽子装着、両眼60Hz
照明環境シミュレーション装置	THOUSLITE社	スペクトルレンジ350~700nm
筋電位計測装置	日本光電(株)・WEB-9500	チャンネル数: 8ch, 無線式
体圧分布センサ	アビリティーズ(株)・XSENSOR X3	測定面積: 460×460mm, 610×1830mm
赤外線サーモグラフィ	NEC三栄(株)・TH9260	温度測定範囲: -40℃~500℃
レーザー加工機	COMMAX・VD60100	出力150W, 投入材料: 1,000×600mm
触覚評価測定装置	(株)トリニティラボ TL201Tt	シリコン製接触
リバーシブルエンジニアリング支援ソフト	(株)テータテザイ・Geomagic DesignX	機能: 3Dスキャンデータから3DCADデータを作製
家具用開閉試験機	(株)マトロニクス・特注	機能: 引き出し、引き戸などの耐久試験

6 定期刊行物

岐阜県生活技術研究所研究報告(年1回)

岐阜県生活技術研究所年報(年1回)

生活研通信(年4回)

7 利用案内

依頼試験: 木質材料や製品の強度・耐久試験、成分分析等を実施し成績書を発行(有料)。

開放試験: 企業等の研究、製品開発のため、機器類の開放利用を実施(有料)。

技術相談支援: 材料、製品の機能評価、住環境評価等に関する技術相談・支援を随時実施(無料)。
(巡回技術支援、緊急課題技術支援、新技術移転促進等)

共同研究: 企業と当所がそれぞれの得意分野を分担して研究を実施(企業分は企業が負担)。

受託研究: 企業等の新技術や新製品の開発のため、委託を受けて研究を実施(有料)。

その他: 試験研究機関研修生受入要領に基づき木工業等について受入、指導(無料)。

中小企業向けの技術研修や講演、講習会により企業の人材育成を支援(一部有料)。

8 相談窓口

E-mailアドレス: info@life.rd.pref.gifu.jp

ホームページ: https://www.life.rd.pref.gifu.lg.jp/

9 交通案内

JR 高山本線「高山駅」下車 タクシー10分

中部縦貫自動車道（高山清見道路）「高山西 IC」より車で15分

岐阜県農業技術センター

所在地	〒501-1152 岐阜市又丸 729-1		
電話	(058)239-3131	F A X	(058)239-3139
所長	宮田 和也	設立	明治 34 年(平成 18 年改称)
職員数	43 名 (うち研究員数 28 名)		
土地面積	111,276 m ²	建物延面積	8,704 m ²
対象業種又は技術分野	水稲・野菜・果樹・花き等の品種の開発及び栽培技術の開発、農産物利用及び環境保全技術の開発		

1 設置概要(目的、経緯等)

岐阜県農業技術センターは、「元気な農業・農村づくり」に寄与するために、水稲・野菜・花き・果樹等の新品種開発育成、農作物の高度な栽培技術の開発や高付加価値化技術、天敵・微生物・有機質資源等を活用した減農薬・減化学肥料栽培技術など多様化・高度化するニーズに対応する美濃平坦地の農業技術開発拠点として整備された。

農業技術の中核機関として、産学官の研究機関や行政機関との連携を密にし、重点的研究及び地域に密着した研究を推進するとともに受託・連携研究、技術支援、農業情報の提供等に取り組んでいる。

また、平成 22 年度に生物工学研究所の廃止に伴い生物機能研究部が移管され、平成 28 年度に環境部門の研究推進を図るため本研究部と環境部を統合し、土壌化学部と病理昆虫部を新設。平成 29 年度末の作物部池田試験地の廃止と共に、野菜・果樹部の業務を区分けして野菜部と果樹・農産物利用部を新設した。

2 組 織

所長	総務課 (4 名)	・ 人事、予算、経理、財産・物品の管理、文書・生産物の処理
	作物部 (6 名)	・ 水稲新品種育成、作物の栽培技術開発 ・ 作物の奨励品種の選定と原々種生産
	花き部 (5 名)	・ 新花き品種の育成、栽培技術開発 ・ 施設栽培における夏期の高温対策技術の開発
	野菜部 (9 名)	・ 野菜の県ブランド新品種開発 ・ 既存の栽培法を発展させた革新的生産技術の開発
	果樹・農産物利用部 (6 名)	・ 果樹の県ブランド新品種開発 ・ 既存の栽培法を発展させた革新的生産技術の開発 ・ 農産物の品質保持や加工・素材化技術の開発
	土壌化学部 (6 名)	・ 効率的な施肥技術の開発 ・ 良好な生育のための適正施肥技術の開発 ・ 農産物の安全性や危機管理への対応
	病理昆虫部 (7 名)	・ ぎふクリーン農業を支援する防除技術の開発 ・ 病害虫防除の問題解決型技術支援

3 重点分野

①産地評価とブランド品目づくり、②安全・安心な農作物づくり、③流通・販売の拡大を基本方針に定め、地域要望の強い課題の研究開発と技術支援を積極的に展開するとともに、研究成果の効率的な普及に努める。

4 主要研究テーマ

- (1) 農畜水産業のイノベーションプロジェクト研究課題
 - ① 「天下富舞」ブランド化のためのウェアラブル型ササキ感評価装置の開発と栽培マニュアルの作成（果樹・農産物利用部）
 - ② AIを活用した切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調整技術の開発（花き部）
 - ③ 生育状況や気象等に応じた最適環境制御技術の開発（野菜部、土壌化学部、病理昆虫部）
 - ④ ICT技術を活用したイチゴ高設栽培の高位安定生産（野菜部）
 - ⑤ 深層学習を利用したカキ輸出最適果実の判別と対応技術の開発（果樹・農産物利用部）
- (2) 農業の地球温暖化適応プロジェクト研究課題
 - ① 夏期高温に対応した水稻品種の育成と良食味栽培技術の開発（作物部）
 - ② 温暖化に適応したカキ害虫防除体系の確立（病理昆虫部）
 - ③ 気候変動に対応したイチゴの栽培技術、品質保持技術の確立（野菜部）
 - ④ 気象変動がもたらす機会を活用した亜熱帯果樹導入のための基盤技術開発（果樹・農産物利用部）
- (3) 次世代農畜水産業のデザインプロジェクト研究課題
 - ① 新規就農に適した新たな品目及び生産体系の確立（野菜部）
 - ② 日持ち性に優れるネイティブフラワー新品目の商品開発と輸出適応化（花き部）
 - ③ カキ栽培のデジタルトランスフォーメーション（DX）化に関する研究（果樹・農産物利用部）
 - ④ 加工利用米県オリジナル新品種の育成と栽培技術の確立（作物部）
- (4) 重点研究課題
 - ① ゲノム情報の活用により高度化・迅速化したカキの新品種開発（果樹・農産物利用部）
 - ② 難防除土壌病害虫に対する産地適合型防除対策の構築（病理昆虫部）
 - ③ 食味向上に向けた飛騨「コシヒカリ」の安定栽培技術の開発（土壌化学部）
 - ④ 茶および県育成品種のブランド化推進のための品質保持技術の開発（果樹・農産物利用部）
 - ⑤ イチゴの育苗期間におけるハダニ防除技術の開発（病理昆虫部）
 - ⑥ コメのヒ素吸収抑制技術の開発（土壌化学部）
- (5) 地域密着型研究課題
 - ① 岐阜県産米を利用した新しいブランド品目の開発（作物部）
 - ② イチゴ高設栽培岐阜県方式における省力システム「1槽2条型」の確立（野菜部）
 - ③ AIを活用した土壌病害診断技術の開発（病理昆虫部：受託）
 - ④ AIを活用した病害虫診断技術の開発（病理昆虫部：受託）
 - ⑤ カドミウム低吸収性ハツシモの育成（作物部：受託）
 - ⑥ 麦作の多収技術の確立（作物部）
 - ⑦ 実需者から求められる果実特性を有するイチゴ品種の育成（野菜部）
 - ⑧ 高品質水稻の安定生産に向けた施肥技術の確立（土壌化学部）
 - ⑨ 収支バランスを考慮した新たなカリ施肥基準の設定（土壌化学部）
 - ⑩ 新規需要の創出に向けたオリジナル花きの育成（花き部）
 - ⑪ 環境モニタリングによる施設花きの栽培管理技術の開発（花き部）
 - ⑫ 気象条件が施設野菜類の生理障害の発症に及ぼす影響予測と適応策の評価（野菜部：受託）
 - ⑬ リモートセンシングを用いた土壌環境の適正化に対応した播種適期の広い大豆品種の導入（作物部：受託）
 - ⑭ 微生物殺虫・殺菌剤を用いた野菜重要病害虫のフェルコンコントロール技術の確立（病理昆虫部：受託）
 - ⑮ 固形培地耕栽培に対応した病害虫防除対策技術の確立（病理昆虫部）
 - ⑯ 出荷適期の予測を可能とするAIによるカキ生育モデルの構築（果樹・農産物利用部：受託）

5 主要試験研究機器

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
生物顕微鏡	オリンパス BX-50-31 他	ディスカッション仕様
システム倒立顕微鏡	TE300-1 他	顕微鏡写真撮影装置付
顕微鏡細胞画像解析装置	浜松フォトニクス ARVGUS-20 システム	
実体顕微鏡	オリンパス SZX16	照明・撮影装置付
クライオスタット	CM-1100 ライカ社製	凍結ミクロトーム
C/N コーダー	JM3000CN	分析機能 8点/hr
窒素自動蒸留滴定装置	FOSS ケルテック 8400 他	
原子吸光分光光度計	日立偏光ゼーマン Z5000	フレーム、グラフィート分析

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
ICP 発光分光分析装置	Thermo iCAP7400	マルチ型
紫外可視分光光度計	日本分光 V-630 他一式	
マッフル炉	デンケン製	架台・排煙装置付き
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津 GCMS-TQ8040	
ガスクロマトグラフ	アジレント製 7890A	
ガスクロマトグラフ (ECD)	島津製作所製 GC-2014ATF/SPL	キャリアガスデジタル制御、自己診断機能付
高速液体クロマトグラフ	日本分光	PDA、UV、蛍光
中低圧クロマトグラフシステム	アマシムハイサイエンス	紫外線検出器、自動分画採取装置付
DNA シーケンサ	パナソニック 310-11SP	
遺伝子増幅装置	TP-3000 他	温度制御範囲-5～99.9℃、サンプル数 96 本
リアルタイム PCR システム	Step One Plus 他	
高感度蛍光イメージアナライザ	Lumi-Imager F1	
色彩色差計	ミノルタ CR-400	L、a、b 及び X、Y、Z
茶成分分析計	カワサキ機工 GTN-9	水分、全窒素、繊維、全遊離アミノ酸、カフェイン、タンニン、テアニン、Vc
中高圧処理装置	東洋高圧まるごとエキス TFS-20	100MPa、75℃
連続流れ分析装置	ビーエルテック	硝酸分析仕様
米麦分析計	静岡製機 BR-5000	水分、蛋白質、アミロース、脂肪酸度
穀粒判別器	静岡製機 ES-1000	整粒、未熟粒、被害粒、胴割粒、他
超遠心粉砕機	ZM-200	サイクロンキット一式
バイオマルチインキュベーター	日医機器 LH-30-8CT	8 連式温度勾配
CO2 インキュベーター	MCO-34AI MCO-100	
人工気象器	日医機器製作所 LH-200RD	5～50℃、0～7, 500LuX
米麦乾燥調整装置	大島 RVM-28	
凍結乾燥機	東京理化 FDU-2100	
超高速遠心器	ベックマン Optima L-70K	
オートガンマカウンター	パナソニック 2480WIZARD2	

6 定期刊行物

岐阜県農業技術センター研究報告
岐阜県農業技術センター年報

7 利用案内

技術相談指導：来所あるいは電話による技術相談を常時受け付ける。
共同研究：県の共同研究規定により企業との共同研究を実施する（企業分は企業負担）。
成果検討会：新品種や新技術などの研究成果を報告し、農業の技術指導に携わる関係者と検討を加え、迅速かつ効率的な普及を図る。

8 相談窓口

E-mail アドレス c24401@pref.gifu.lg.jp
ホームページ <https://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

<農業技術センター>
名神高速道路から：羽島 IC より車で 30 分
JR 岐阜駅から：タクシーで 30 分
岐阜バス 大野忠節線またはモレラ忠節線 「又丸西」下車 徒歩 7 分

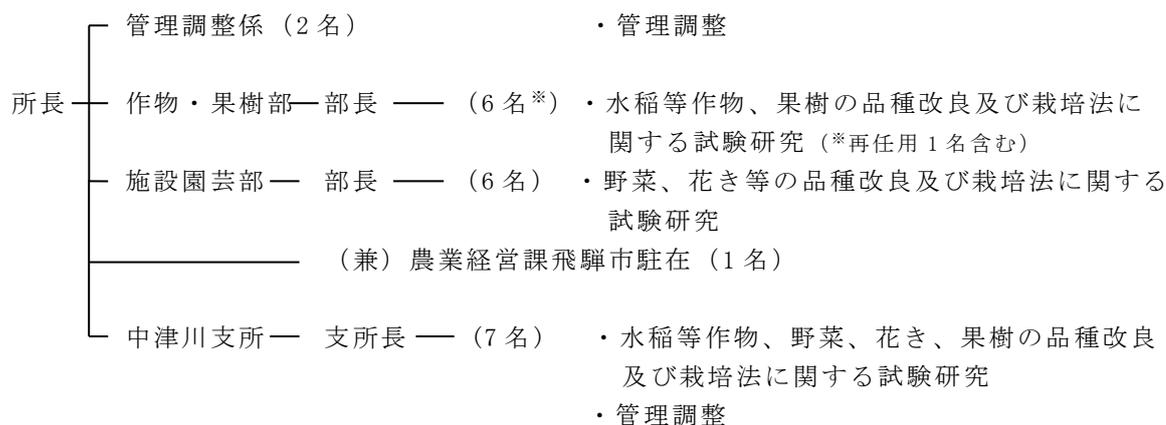
岐阜県中山間農業研究所

所在地	本 所	〒509-4244	飛騨市古川町是重二丁目 6 番地 5 6 号
	中津川支所	〒508-0203	中津川市福岡 1 8 2 1 番地 1 7 5
電 話	本 所	(0577)73 - 2029	F A X (0577)73 - 2751
	中津川支所	(0573)72 - 2711	(0573)72 - 3910
所 長	鍵谷 俊樹		
設 立	本 所	大正 12 年(平成 12 年統合改称、平成 17 年改称)	
	中津川支所	昭和 11 年(同 上)	
職員数	22 名 (うち研究員数 13 名)		
土地面積	本 所	51,434 m ²	建物延面積 本 所 2,265 m ²
	中津川支所	59,600 m ²	中津川支所 1,769 m ²
対象業種又は技術分野	作物・野菜・花き・果樹等の育種及び栽培試験		

1 設置概要(目的、経緯等)

大正 12 年に岐阜県立農事試験場飛騨分場として創立・設置され、昭和 41 年に岐阜県高冷地農業試験場として拡充された。平成 12 年には、高冷地農業試験場と中山間地農業試験場が統合し中山間農業技術研究所として発足した後、平成 17 年に中山間農業研究所と改称され現在に至っている。当研究所は中濃・東濃・飛騨地域の概ね標高 300~1,300m にある耕地を対象に作物、野菜、花き、果樹等の育種及び栽培を中心に、現地で発生した問題解決を含めた試験研究を行っている。

2 組 織



3 重点分野

新たな「ぎふ農業・農村基本計画」の重要テーマに掲げられた「中山間地域を守り育てる対策」を推進するため、地域ニーズに対応した喫緊の課題に加えて、今後の時代の流れを先取りした研究テーマ (ICT 等活用による省力、高品質化技術、温暖化適応技術など) に積極的に取り組む。また、農業関係機関と連携しながら研究成果の円滑な技術移転を進める。

4 主要研究テーマ

(1) 農畜水産業のイノベーションプロジェクト研究課題

- ① ICT を活用した夏秋トマト多収栽培システムの生産性向上 (本所・中津川支所)
- ② AI を活用した切花フランネルフラワーの出荷予測・開花調整技術の開発 (中津川支所)
- ③ 人工衛星によるセンシング等を活用した飛騨地域水稻生育・品質管理技術の開発 (本所)
- ④ 飛騨桃の輸出販路の拡大に向けた品種選定と栽培、選別技術の確立 (本所)

(2) 農業の地球温暖化適応プロジェクト研究課題

- ① 夏期冷涼な気候を生かした野菜産地における地球温暖化対策技術開発 (本所・中津川支所)
- ② 夏期冷涼な気候を生かした果樹産地における地球温暖化対策技術開発 (本所)
- ③ 夏期高温に対応した水稻品種の育成と良食味栽培技術の開発 (本所)

- (3) 次世代農畜水産業のデザインプロジェクト研究課題
- ① カラーピーマンの3Sシステムによる栽培管理方法の開発 (本所・中津川支所)
 - ② クリ栽培の省力化に向けた機械化体系の構築 (中津川支所)
 - ③ 加工利用米県オリジナル新品種の育成と栽培技術の確立 (本所・中津川支所)
- (4) 重点研究課題
- ① 食味向上に向けた飛騨「コシヒカリ」の安定栽培技術の開発 (本所)
 - ② 夏ほうれんそう栽培・調製における省力技術開発 (本所)
 - ③ 大玉トマト品種「麗月」の高品質生産技術の確立による産地競争力強化 (本所)
- (5) 地域密着型研究課題
- ① 岐阜県産米を利用した新しいブランド品目の開発 (本所・中津川支所)
 - ② 中山間地域における果菜類の安定生産、省力化技術の開発 (本所・中津川支所)
 - ③ 夏ホウレンソウの難防除害虫・雑草の総合防除技術開発 (本所)
 - ④ 飛騨地域に適したモモ、リンゴ等の品種選定と栽培技術の開発 (本所)
 - ⑤ クリ新品種育成及び有望品種選定と「えな宝来」、「えな宝月」、「ぼろたん」の安定生産技術開発 (中津川支所：一部受託)
 - ⑥ 中山間地域の新たな花きブランドの開発 (本所・中津川支所)
 - ⑦ クリにおける凍害発生要因の解明と対策技術の開発 (中津川支所：受託)
 - ⑧ 飛騨地域に自生する薬用植物の有用成分に注目した選抜と栽培技術開発 (本所：受託)

5 主要試験研究機器・産業機械

機 器 名	メ ー カ ー ・ 形 式	仕 様
○本 所		
原子吸光度計	日立製作所 (Z-4100)	
CN コーダー	柳本製作所 (MT-700)	
分光光度計	日立製作所 (U-3000)	
高速液体クロマトグラフ	島津製作所 (LC10-ADVP)	多波長検出器、蛍光検出器及び示差屈折率検出器
ケルダール自動分析装置	柴田科学器械工業 (システム 31)	
インキュベータ	日立製作所 (CR-41)	3 台・温度調節範囲 -10 ~ 50℃
安全キャビネット	日立製作所 (SCV-1303)	
凍結乾燥機	タイテック (VD-41)	
温度勾配恒温器	日本医化器機製作所 (TG100-AD)	
システム顕微鏡	オリンパス光学工業 (BX50)	
水稻用耐冷性検定器	藤原製作所 (FTS-OS 型)	温度範囲 10~40℃、温度精度±0.5℃
大型熱風循環式送風	アズワン (FC2000)	温度範囲室温±10/150℃
定温乾燥機		温度精度±1℃
オートガンマカウンター	パーキンエルマー (2480WIZARD2)	
○中津川支所		
分光光度計	日立製作所 (U-1000)	シングルビーム 325~1100 nm
総合分析装置	富士平工業 (SFP-3)	
顕微鏡	オリンパス光学工業 (BH-2)	
クリーンベンチ	日本医化器機	
インキュベーター	日立製作所 (CR-14)	温度設定範囲 5~45℃
〃	サンヨー (MIR-553)	〃 -10~50℃
バイオマルチンキュベーター	日本医化器機製作所 (LH-30CCFL-8CT)	制御範囲 +5~45° (8 室)
色彩色差計	コニカミノルタ (CR-400)	
イオンクロマトグラフ	島津製作所 (PIA-1000)	測定項目 PO ₄ 、F、Cl、SO ₄ 、Mg、Ca 他
酸度計	東亜電波工業 (AT-100A)	測定範囲 0~10% (みかん、リンゴ、トマト)
インキュベーター	サンヨー (MLR-350)	
プロフィール土壌水分計	Daiki (DIK-355B)	4 層表示タイプ (10, 20, 30, 40cm)
果実収穫機	Kwangpung (KP (EU) -2000)	トラクターマウント式
果実収穫機	HASATSAN (H130)	自走式

6 定期刊行物

岐阜県中山間農業研究所研究報告 (年 1 回程度)

岐阜県中山間農業研究所年報（年 1 回）

岐阜県中山間農業研究所ニュース（年 4 回程度）

7 利用案内

技術相談指導：来所または電話により受け付け、技術相談、技術指導等を実施する（無料）。

共同研究：岐阜県試験研究機関共同研究実施要綱に基づき、研究を共同で実施する。

受託研究：岐阜県試験研究機関受託研究実施要綱に基づき、民間企業等からの委託を受けて研究を実施する（有料）。

研究成果の紹介：8月に中間検討会を開催し、研究推進状況等を関係機関及び農家に紹介・検討する。

2月頃に成果検討会を開催し、研究成果を関係機関及び生産者に紹介・検討する。

試験研究内容及び圃場視察対応を水稻・野菜・花き・果樹について随時実施する。

8 相談窓口

E-mail アドレス c24402@pref.gifu.lg.jp

ホームページ <https://www.k-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

（本所）

JR 高山本線 「飛騨古川駅」下車 タクシー5分または徒歩 15分

東海北陸自動車道「飛騨清見 IC」より車で 30分

（中津川支所）

JR 中央本線 「中津川駅」下車 タクシー約 30分

中央自動車道「中津川 IC」から国道 257 号線を車で約 30分

岐阜県畜産研究所

所在地	〒506-0101	高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 (本所及び飛騨牛研究部)
	〒509-7601	恵那市山岡町久保原 1975-615 (酪農研究部)
	〒505-0037	美濃加茂市前平町 3-8 (養豚・養鶏研究部)
	〒501-3924	関市迫間 2672-1 (養豚・養鶏研究部関試験地)
電話	(0577)68-2226	(本所及び飛騨牛研究部) F A X (0577)68-2227 (同左)
	(0573)56-2769	(酪農研究部) (0573)56-2974 (同左)
	(0574)25-2185	(養豚・養鶏研究部) (0574)28-4132 (同左)
	(0575)22-3165	(養豚・養鶏研究部関試験地) (0575)22-3164 (同左)
所長	林 登	設立 明治41年(平成12年統合改称)
職員数	45名(うち研究員数20名)	
土地面積	872,724 m ²	建物面積 23,639 m ²
対象業種又は技術分野	肉用牛、乳用牛、豚、鶏(育種改良、バイオ技術、飼養管理、畜産物品質改善、技術支援) 飼料作物(栽培、調製、利用、技術支援) 環境保全(畜舎環境、堆肥化、廃棄物利活用、技術支援)	

1 設置概要(目的、経緯等)

平成12年4月1日に岐阜県畜産業の技術支援拠点として、肉用牛試験場、畜産試験場、養鶏試験場の3場を統合して設立された。新しい時代に対応した畜産を推進するために必要な、バイオテクノロジー技術や遺伝子解析をはじめ、各家畜の育種改良、飼養管理技術に関する研究を実施するとともに技術指導等を行っている。

○沿革

飛騨牛研究部:岐阜県郡上郡白鳥町に岐阜県種畜場として設立、昭和6年飛騨分場として当地へ移転、昭和61年岐阜県肉用牛試験場と改称、平成12年畜産研究所飛騨牛研究部と改称

酪農研究部:昭和48年岐阜県畜産試験場酪農試験地科として設置、昭和57年同場酪農部として整備、平成12年畜産研究所酪農研究部と改称。

養豚・養鶏研究部:岐阜県畜産センターとして設立。昭和42年岐阜県畜産試験場と改称、平成12年畜産研究所養豚研究部と改称、平成26年畜産研究所養豚・養鶏研究部に再編統合。

養豚・養鶏研究部関試験地:岐阜市加納に岐阜県種畜分場として設立、昭和32年岐阜市鷺山に移転、岐阜県種鶏場と改称、昭和40年現在地に拡充移転、昭和61年岐阜県養鶏試験場と改称、平成12年畜産研究所養鶏研究部と改称、平成26年畜産研究所養豚・養鶏研究部に関試験地を設置。

2 組織

所長	総務課 (9名)	・人事、予算、庶務会計、財産管理、物品管理
	飛騨牛研究部 (12名)	・飛騨牛の育種改良、和牛のゲノム解析、受精卵移植新技術開発と確立、種雄牛の産肉能力検定、凍結精液生産・配布、和牛生産・飼養管理技術、技術支援・普及
	酪農研究部 (10名)	・受精卵移植による乳牛の改良、雌受精卵配布、飼養管理技術、飼料生産・調製技術、飼料分析、技術支援・普及
	養豚・養鶏研究部 (7名)	・豚の系統維持、豚ゲノム解析、飼養管理技術、種豚・精液配布、畜産の環境保全・リサイクル、飼料品質改善、技術支援・普及
	養豚・養鶏研究部関試験地 (6名)	・奥美濃古地鶏の改良・種鶏供給、卵用・肉用鶏の育種改良、飼養管理技術

3 重点分野

当研究所は、県民に対する安全・安心・健康な畜産物の提供と県内畜産ブランド製品の振興を最重点課題として位置づけ、関係機関と緊密な連携をとり、①生産性向上のための家畜の育種改良の推進 ②畜産新技術の開発 ③畜産環境改善を中心とした研究開発により県内畜産業の振興を図っている。

(1) 飛騨牛研究部

- ① 飛騨牛の特徴の指標探査に関する研究
- ② DNA解析を利用した新たな改良手法の開発
- ③ 肥育牛の飼養管理技術に関する研究
- ④ 飛騨牛改良事業
- ⑤ 飛騨牛産肉能力検定事業

(2) 酪農研究部

- ① 性判別胚を用いた乳牛改良
- ② 乳牛の飼養管理技術の開発
- ③ 自給飼料の高品質化に関する研究
- ④ 自給飼料分析指導事業
- ⑤ 家畜性判別胚供給事業

(3) 養豚・養鶏研究部

- ① 先端技術を利用した豚の改良
- ② 豚の飼養管理技術に関する研究
- ③ 種豚及びボーノブラウンの再造成
- ④ 畜産の環境問題改善に関する研究及び技術支援

(4) 養豚・養鶏研究部 閔試験地

- ① 奥美濃古地鶏の改良
- ② 飼料用米を利用した鶏飼養管理技術の開発
- ③ 県内民間孵化場への種卵の生産・供給

4 主要研究テーマ

(1) 農畜水産業のイノベーションプロジェクト研究課題

- ① 牛飼養管理の精密化・省力化を目的としたセンシング技術の開発(飛騨牛研究部、酪農研究部)
- ② 生産性・品質に優れた新たなスーパー種畜の育成(飛騨牛研究部、養豚・養鶏研究部)

(2) 次世代農畜水産業のデザインプロジェクト研究課題

- ① ゲノム育種による肉用奥美濃古地鶏の増体性および食味性の改良(養豚・養鶏研究部)

(3) 重点研究課題

- ① 胚段階でのゲノム選抜法の実用化研究(酪農研究部)

(4) 地域密着型研究課題

- ① 枝肉重量及びロース芯面積を改善する飼料給与方法の開発(飛騨牛研究部)
- ② 血中因子を指標とした効率的な肉用牛肥育方法の開発(飛騨牛研究部：受託)
- ③ 岐阜県和牛集団に最適なゲノム育種手法の確立(飛騨牛研究部)
- ④ 飛騨牛の子牛生産阻害因子の解明(飛騨牛研究部)
- ⑤ 非分解性蛋白質の早期給与が牛枝肉成績に及ぼす影響(飛騨牛研究部)
- ⑥ 自給飼料の利用拡大及び高品質化に向けた飼料分析に関する研究(酪農研究部)
- ⑦ 乳用牛の周産期における潜在性疾病の早期発見技術の開発(酪農研究部)
- ⑧ 豚抗病性改善指標の *in vitro* 評価系の創出(養豚・養鶏研究部：受託)
- ⑨ 肉用奥美濃古地鶏原種鶏群の改良及び雄系原種系の作出に関する研究(養豚・養鶏研究部)
- ⑩ 養豚業における抗菌薬の使用量を低減する新たな飼養管理技術の開発(養豚・養鶏研究部)
- ⑪ 畜舎汚水のメタン発酵に係る前処理方法の開発および廃液の液肥活用に向けた肥料成分濃縮方法の開発(養豚・養鶏研究部)

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
○飛騨牛研究部 プログラムフリーザー	富士平工業 ET-1	使用温度範囲-40℃～50℃ 温度最小設定範囲0.01℃ 冷却温度勾配1.0～0.1℃
マイクロマニピレーター	ナリシゲMO-102	胚の分割および操作
炭酸ガス培養装置	ヒラサワ CP0 ₂ -171	内容積160ℓ、CO ₂ 濃度誤差±0.15%
細胞融合装置	島津 SSH-10	融合チャンバーFTC-24W含む
PCR増幅器	カワ サーマルサイクラー MP	細胞中のDNA増幅
分光光度計	GEヘルスクア 分光光度計	DNA濃度測定
画像撮影装置	フジフィルム LAS-mini	ゲル画像撮影
高速液体クロマトグラフ	島津 LC-20AD、SPD-20AV	ビタミンA測定、脂肪酸測定
細胞融合装置	ベレックス社LF-101	パルス印加回数の任意設定可能
マイクロフォージ	TPI社 MF-1	顕微操作ツール作成
倒立型顕微鏡	オリンパス IX71-23FL/DIC	微分干渉装置、落射蛍光装置付き
融点測定装置	メラート社 FP900	測定範囲6℃～375℃
超音波肉質測定装置	本多電子(株)HS-2200V	1.5M～12.5MHZ
LC/MS高速アミノ酸分析システム	島津UF-Amino Station	アミノ酸等39種の測定用
○酪農研究部 近赤外線分析装置	ビエールテック株式会社 Spectra StarXT	波長域1100～2600nm
原子吸光光度計	日立ハイテクノロジーズ Z-2310	偏光ゼーマン補正方式
プログラムフリーザー	富士平工業 ET-1	使用温度範囲-40℃～50℃ 温度設定最小範囲0.01℃ 冷却温度勾配1.0～0.1℃
ミルコスキャン	デンマーク フォス エレクトリック社 133B	生乳成分分析装置
生化学自動分析装置	富士ドライケム3500V	血液分析、シングルマルチ測定方式、測定26項目
マイクロマニピレーター	オリンパス ONM-1 ONO-121	粗動30mm、ハンドル1回転/250μm
超音波診断装置	本田電子 HS-2000	経腔採卵、卵巣画像診断、早期妊娠診断等
蛋白質定量装置	(株)アクタック1035型カルテック	0.1～200mgN
エンドポイント濁度測定装置	ニッポンゼン社 LT-16	16サンプル
高速液体クロマトグラフ	日立ハイテクノロジーズ LaChrom Elite	β-カロテン測定
○養豚・養鶏研究部 ガスクロマトグラフ	島津 GC-15A	悪臭物質(硫黄系物質)測定用
ガスクロマトグラフ	島津 GC-14B	悪臭物質(低級脂肪酸)測定用
自動血球計数器	NIHON KORDEN MEK-5153	1,000万～10億個/μl
高速液体クロマトグラフ	日本分光 アミノ酸分析システム	遊離アミノ酸分析
食肉せん断力価測定装置	ワーナーブラッツラーミートシャー	Model 3000型
ロース断面積測定装置	富士平工業SSD-900	測定深度3～21cm
超低温フリーザー	三洋電機(株)MDF392	-20～-95℃
カロリーメーター	小川サンプリング(株)	飼料の発熱量測定用
原子吸光光度計	サーモフィッシャーサイエティフィック(株) icE3300	同時バックグラウンド補正機構付
ディスクペレッター	(株)ダルトン F-5/11-175型	定速型 本体回転数 120rpm
飼料米粉砕機	デリカ DHC-4000	最大破砕能力 4000kg/時
○養豚・養鶏研究部 関試験地 紫外可視分光光度計	島津製作所 UV-2500PC	測定波長範囲 190～1100nm
冷却高速遠心機	日立工機 CF16RX II	最高回転数 16,000rpm 15A AC100
卵殻強度計	インテスコ ハーディングテスター	移動クロスヘッド速度 5mm～50mm/m. 可変荷重測定範囲 0～10kg
測色色差計	日本電色工業ZE2000	表色系 XYZ, Lab, ΔL, Δb, ΔE, Lab 光学条件 JIS Z-8722に準拠 試料面積 固体の反射色 30, 10, 6 粉体、ペースト 30mmφ 透過色 30mmφ プランジャーφ1cm スピート 60～420mm/min 産卵記録集計及び分散入力コンピュータ (デスクトップ及びペン入力コンピュータ) 卵重、卵殻強度、卵白高/ハウユニット、卵黄色、卵殻厚
テンシプレッサー	タケトモ電機TTP-50BX	L*a*b*, L*C*h, Yxy, XYZ, マンセル (D65)
産卵記録入力集計機器	コンパクト EC 180799-292	WI (CIE/ASTM E 313-96)、Tint (CIE/ASTM E 313-96)、YI (ASTM E313-96) の8種類の表示が可能
富士通FMペンノートTI	株式会社ナベル DET6000	
卵質測定装置		
カラーリーダー	コニカミノルタ CR-20	

6 定期刊行物

岐阜県畜産研究所研究報告（年1回）
畜産研通信（年4回程度、ホームページ掲載）

7 利用案内

技術相談支援：肉用牛、乳用牛、豚、鶏に係わる飼養管理技術、畜産物の加工技術及び品質向上、受精卵移植技術、環境保全技術、飼料作物の栽培調製技術等についての技術相談、技術支援を実施する。技術相談は来所あるいは電話で受ける他、要望により現地に赴いて技術支援を実施する。

技術研修：《畜産技術研修》

将来畜産自立経営者をめざす子弟等で、実践的な場を通じて専門的な知識・技術の習得を希望する研修生の受け入れが可能。

《講習・講演会》

研究成果、新技術等技術上重要なテーマについて実施する。

《農業大学生の技術研修》

農業大学生が畜産研究所の研究員の指導のもとに、実践的な場を通じて専門的な知識・技術の習得を行う。

《畜産、獣医学専攻大学生のインターンシップ》

学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験と畜産学及び獣医学専攻学生の牧場実習単位の修得が出来る。

《幼児、児童の社会見学》

幼児、児童等の社会見学、体験学習を受入、将来をみこした科学教育を行う。

依頼分析試験：《自給飼料の成分分析》（酪農研究部）

手続き：手数料とともに飼料分析申請書を提出。

結果：飼料分析結果通知書、飼料給与計算結果通知書で通知し、必要がある場合は、適正給与、飼養管理等について技術指導を実施する。

8 相談窓口

- ・飛騨牛研究部：E-mail アドレス：boxbeef@livestock.rd.pref.gifu.jp
ホームページ <https://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/160130hidaindex.html>
- ・酪農研究部：E-mail アドレス：boxdairy@livestock.rd.pref.gifu.jp
ホームページ <https://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/dairy/>
- ・養豚・養鶏研究部：E-mail アドレス：boxswine@livestock.rd.pref.gifu.jp
ホームページ <https://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/swine/>
- ・養豚・養鶏研究部：E-mail アドレス：boxpoultry@livestock.rd.pref.gifu.jp
関試験地 ホームページ <https://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp/poultry/>

9 交通案内

（飛騨牛研究部）

J R高山本線 「高山駅」下車 タクシー20分
濃飛バス荘川線 「県畜産研究所口」下車 徒歩10分
高速バス名古屋、大阪線 「道の駅 七杜」下車 徒歩10分
中部縦貫自動車道 「高山西 IC」より車で3分

（酪農研究部）

J R中央本線 「恵那駅」下車 タクシー30分
明知鉄道 「山岡駅」下車 タクシー15分
中央自動車道 「恵那 IC」より車で30分

（養豚・養鶏研究部）

J R高山本線 「美濃太田駅」下車 タクシー5分
長良川鉄道 「前平公園前」下車 徒歩5分

東海環状自動車道 「美濃加茂 IC」より車で 8 分
(養豚・養鶏研究部関試験地)
名鉄各務原線 「三柿野駅」下車 タクシー15 分
東海北陸自動車道 「関 IC」より車で 5 分

岐阜県水産研究所

所在地	本所	〒501-6021	各務原市川島笠田町官有地無番地
	下呂支所	〒509-2592	下呂市萩原町羽根 2605-1
電話	本所	(0586)89-6351	F A X 本所 (0586)89-6365
	下呂支所	(0576)52-3111	下呂支所 (0576)52-4354
所長	中居 裕		
設立	本所	平成 17 年	
	下呂支所	昭和 27 年(平成 17 年組織改編)	
職員数	18 名 (うち研究員数 13 名)		
土地面積	本所	8,906 m ²	下呂支所 22,395 m ² (うち試験池面積 5,349 m ²)
建物延面積	本所	1,484 m ²	下呂支所 1,935 m ²
対象業種又は技術分野	河川漁業、内水面養殖業に関する研究開発及び技術指導、生物多様性保全に関する調査研究		

1 設置概要(目的、経緯等)

昭和 27 年、岐阜県水産会(現在の県漁連)所管の岐阜県水産増殖試験場(大垣市)が県に移管・改称され、岐阜県水産試験場となる。昭和 33 年、益田郡萩原町(現下呂市萩原町)に岐阜県冷水魚養殖試験場が設置され、昭和 35 年には、水産試験場が萩原町に移転するとともに冷水魚養殖試験場を統合した。平成 12 年、水産試験場は岐阜県淡水魚研究所に名称変更。平成 17 年 4 月の組織再編に伴い、各務原市川島笠田に岐阜県河川環境研究所の本所施設が新設され、下呂市萩原町の淡水魚研究所は河川環境研究所下呂支所として存続。平成 26 年 4 月、河川環境研究所から水産研究所に名称変更し、現在に至る。

当研究所では、「人と魚が共存する豊かな水域環境の創出と水産業の振興」を基本目標として、水域における生物多様性の保全に関する研究、漁業対象種であるアユ・アマゴなどの資源管理と養殖技術の開発のほか、研究成果等の普及や啓発活動に取り組んでいる。

2 組織

所長	管理調整係 (5 名)	・人事、予算、経理、財産管理等
	生態環境部 (3 名) うち 1 名 漁業研修部兼務	・希少水生生物(温水性魚類)の保護繁殖に関する研究、温水性魚類の生息環境に関する研究、外来魚の被害対策に関する研究、水産技術の普及指導、啓発活動
	資源増殖部 (4 名)	・アユの増養殖及び魚病に関する研究、カワウの被害対策に関する研究、水産技術の普及指導、啓発活動
	漁業研修部 (3 名) うち 1 名 生態環境部兼務 1 名 里川振興課兼務	・内水面漁業研修センターに係る研修プログラムの調整、研修生の受け入れ、魚病検査、魚類防疫に係る指導・助言
	下呂支所 (4 名)	・マス類(冷水性魚類)の増養殖に関する研究、冷水性魚類の生息環境に関する研究、魚病検査、魚類防疫に係る指導・助言、水産技術の普及指導、啓発活動

3 重点分野

(1) 漁業対象種の資源管理と養殖技術の開発

アユやアマゴなど漁業資源の効果的な増殖や漁場に関する研究を行っている。また、優良系統の作出、養殖技術の改良、魚病に関する調査研究に取り組んでいる。

- ・アユやアマゴなどの優良種苗の実用化研究
- ・漁業対象魚種の効果的な増殖方法の検討
- ・カジカやアユカケなどの養殖技術の改良
- ・魚病の対策に関する調査研究 等

(2) 水域における生物多様性の保全に関する研究

生物多様性に配慮した水域環境の保全と再生、希少魚の保護対策等の技術開発に関する研究を行っている。

- ・ 農業用排水路の費用対効果の高い改修を図る生息予測式の開発
- ・ 水田魚道の効果的設置条件の究明
- ・ イタセンパラの生息域外保全技術の開発
- ・ ウシモツゴの保護繁殖や野生復帰に関する活動

(3) 研究成果等の普及や啓発活動の強化

養殖技術の普及や魚病診断などの技術支援のほか広報活動を行っている。また、県民向けの啓発・教育活動にも取り組んでいる。

- ・ 研究成果発表会、養魚講習、施設見学などの開催
- ・ 開発途上国支援のため内水面漁業に関する研修の開催、研究員等の派遣
- ・ 広報誌の発行やホームページ作成などの広報活動
- ・ 講習会や勉強会への講師派遣
- ・ 水生生物や水域環境に関する啓発、教育活動 等

4 主要研究テーマ

(1) 農畜水産業のイノベーションプロジェクト研究課題

- ① 先端技術を利用した河川アユ漁獲量増大技術の開発（資源増殖部）

(2) 重点研究課題

- ① 溪流魚資源持続的利用技術開発（下呂支所）
- ② ドローンを使用したカワウ被害対策技術開発事業（資源増殖部）

(3) 地域密着型研究課題

- ① 付加価値の高い優良養殖魚種の開発および飼育技術確立研究（下呂支所）
- ② アユ養殖における細菌病の迅速診断法の開発（資源増殖部）
- ③ 水田魚道を用いたフナ等の増殖方法の確立（生態環境部）
- ④ チョウザメの種苗生産技術に関する研究（下呂支所）
- ⑤ ドローンによるカワウの追払対策及び調査技術開発（資源増殖部）
- ⑥ 水防災・農地・河川生態系・産業文化への複合的な気候変動影響と適応策の研究（生態環境部、資源増殖部、下呂支所：受託）
- ⑦ 環境収容力推定手法開発事業（アユ）（資源増殖部：受託）
- ⑧ 環境収容力推定手法開発事業（溪流魚）（下呂支所：受託）

(4) 森林・環境税活用研究課題

- ① 河川-農地における生態系ネットワーク解析技術の開発と事業効果の検証（生態環境部）
- ② イタセンパラの飼育・繁殖技術の確立（生態環境部）

(5) その他

- ① アユ漁業振興対策事業（冷水病等保菌検査）
- ② 河川遡上アユ親魚養成（実証試験）
- ③ 養殖衛生管理体制整備事業（魚病検査、巡回指導、養魚講習会等）
- ④ 外来魚対策事業（実証試験）
- ⑤ 鮎の輸出国拡大対策事業（サーベイランス対応）

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
○本 所 レオメーター 超低温フリーザー	サン科学製 COMPAC-100 II サンヨー MDF-392AT	測定荷重±20N、±100N切換え 容積 487L 温度制御範囲-20℃～-85℃ 温度記録範囲+50℃～-100℃ 補助冷却装置付き
落射蛍光顕微鏡	オリンパス BX-51-33-FL-2	最高倍率 1,500倍

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
DNAシークエンサー	ベックマンコールター CEQ8000	レーザー照射方式 検出 4 波長誘導蛍光検出 サンプル数 8本キャピラリー DTCS 4 色蛍光検出
DNA増幅装置	タカラバイオ TP600	設定温度範囲 4～99.9℃ 96検体処理可能
分光光度計	島津製作所 UVmini-1240	測定波長範囲190～1100nm スペクトルバンド幅0.5nm単位
顕微鏡用高感度 3CCDカラーテレビカメラ	TOSHIBA IK-TU51CU	水平768画素、垂直494画素 水平解像度 750TV本
インキュベーター	SANYO MIR-253	有効内容量254L ヒーター方式 使用周囲温度範囲0℃～35℃
インキュベーター	SANYO MIR-153	有効内容量128L ヒーター方式 使用周囲温度範囲0℃～35℃
RATOCシステム耳石日輪計 測システム	RATOCシステムエンジニアリン グ製	
リアルタイムPCR装置	TAKARA製MRQ-TP-960	
リアルタイムPCR装置	ThermoFisher製QuantStudio3	
トランスイルミネーター	WSE-5400UP-CP Printgraph Cl assic	紫外線撮影装置
カメラ付き無人マルチコ プター（ドローン）	DJI phantom4pro	4ローター 運用限界高度：（海拔）6,000m 最大飛行時間：約30分
○下呂支所		
超低温フリーザー	パナソニック MDF-394型	容積 309L 温度制御範囲-50℃～-85℃ 温度記録範囲+50℃～-100℃
落射蛍光顕微鏡	オリンパス本体 BHB-332型 " 落射蛍光装置RFL-B型 " 写真撮影装置PM-10A型	最高倍率 1,500倍
DNAシークエンサー	アマシャムバイオサイエンス ALFexpress II	レーザー照射方式 側面連続照射 検出器 フォトダイオード固定式 ゲル重合方法 UV重合 サンプル数 10 蛍光標識法 Dye primer Dye terminator
マイクロプレート ウォッシャー	モデル1575 BIO-RAD社製	クロスワイズモード機能、 洗浄液の吸引吐出速度可変 プログラミング機能（最大75）
分光光度計	島津製作所 UV-2500	測定波長範囲190～900nm スペクトルバンド幅0.1, 0.2, 0.5, 1.0, 1.5, 2.5nm単位(6段階切替)) 測定方式 ダブルモノクロメーター
マイクロプレートリーダー	モデル550 BIO-RAD社製	波長範囲：400～700nm 干渉フィルター：4枚装着可能
産業用X線装置	ソフテックスCMB-2	二重焦点管球、全波整流方式 60kvp、最大四つ切り
インキュベーター	SANYO MIR-153	有効内容量128L ヒーター方式 使用周囲温度範囲0℃～35℃
インキュベーター	パナソニックヘルスケア MRI-154	内容量123L ヒーター方式 温度制御範囲-10℃～+60℃

機 器 名	メーカー・型 式	仕 様
倒立顕微鏡 写真撮影装置：DP20-5 画像処理ソフト：DP2-BSW	オリンパス・IX71 写真撮影装置：DP20-5 画像処理ソフト：DP2-BSW	双眼式視野数22 簡易防水機構
電磁流速計	ケネックVE20	測定範囲 0～200cm/s
マイクロマニピレータ ー マイクロインジェクター 研磨機	ナリシゲMP-1R ナリシゲ1M-9B ナリシゲEG-410	生殖細胞の移植操作 生殖細胞の移植操作 移植用ニードルの研磨

6 定期刊行物

岐阜県水産研究所研究報告（附業務報告）（年1回）
水産研だより（年3回）

7 利用案内

技術相談指導：淡水魚の増養殖全般について普及指導を行っている。現地巡回・来所あるいは電話により対応している（無料）。

技 術 研 修：研究成果や新技術について、養殖生産者等を対象として講習会、研究発表会を開催している（無料）。

受 託 研 究：受託研究制度に基づき実施している（有料）。

8 相談窓口

E-mail アドレス c24101@pref.gifu.lg.jp

ホームページ <https://www.fish.rd.pref.gifu.lg.jp/>

9 交通案内

（本所）

国道21号 各務原市小佐野交差点南下 河川環境楽園西口駐車場又は中央駐車場 徒歩5分

名鉄岐阜駅より岐阜バス川島前渡線川島松倉行き 「川島笠田」下車 徒歩15分

JR高山本線「那加駅」または名鉄「新那加駅」から各務原ふれあいバス「北部・川島線」 「河川環境楽園」下車 徒歩8分

名鉄 「笠松駅」下車 タクシー5分

（下呂支所）

国道41号 下呂市萩原町萩原 朝霧橋交差点で朝霧橋を越えて右折 下呂総合庁舎北側

JR高山本線 「飛騨萩原駅」下車 北へ徒歩20分、タクシー5分

岐阜県森林研究所

所在地	〒501-3714 美濃市曾代 1128-1		
電話	(0575)33-2585	F A X	(0575)33-2584
所長	神田 里喜	設立	昭和 11 年(平成 10 年統合・18 年改称)
職員数	16 名 (うち研究員数 13 名)		
土地面積	10,264 m ²	建物延面積	2,170 m ²
対象業種又は技術分野	森林環境、森林資源生産・管理、森林資源利用		

1 設置概要(目的、経緯等)

昭和 20 年に岐阜県林産指導所を開所、その後昭和 29 年に林産指導所を廃し、高山市に岐阜県林業試験場を設置した。昭和 45 年に岐阜県林業試験場を廃し、美濃市に岐阜県林業センター、高山市に岐阜県寒冷地林業試験場を設置した。平成 10 年に林業センターと寒冷地林業試験場を統合し森林科学研究所となった。平成 18 年に岐阜県森林研究所に改称した。

当所は、「県民生活の向上に貢献する科学技術の振興」を基本理念として、「健全で豊かな森林づくり」と「森林資源の利用を通じて活力ある地域社会の創造」に資するため、県民のニーズに対応した研究開発を推進するとともに、普及指導と連携してその成果の普及と技術支援に努めている。

2 組 織

所長	管理調整係 (3 名)	・ 人事、予算、会計、財務管理
	森林環境部 (5 名)	・ 森林の更新技術・管理技術に関する研究 ・ 森林病虫獣害の防除に関する研究
	森林資源部 (7 名)	・ 森林資源の生産技術に関する研究 ・ 県産材の利用に関する研究 ・ 特用林産物の生産に関する研究

3 重点分野

- (1) 健全で豊かな森林づくりを推進する研究開発
 - ・ 木材生産のための森林管理技術の開発
 - ・ 環境保全のための森林管理技術の開発
 - ・ 森林被害対策技術の開発
- (2) 林業及び木材産業の振興を支援する研究開発
 - ・ 効率的な森林施業技術の開発
 - ・ 木材製品の品質向上技術の開発
 - ・ 特用林産物の生産技術の開発
 - ・ 工芸品等に用いられる材料の生産技術の開発
- (3) 研究成果の普及及び技術支援

4 主要研究テーマ

- (1) キノコ生産管理技術プロジェクト研究課題
 - ① 気候変動等に対応するためのキノコ生産管理技術の開発 (森林資源部)
- (2) 県産大径材利用拡大プロジェクト研究課題
 - ① 県産大径材の A 材利用の拡大に向けた製品・技術開発 (森林資源部)
- (3) 美濃和紙原料の供給安定化事業研究課題
 - ① 美濃産コウゾの高品質化のための栽培・管理技術の開発 (森林環境部)
- (4) 重点研究課題
 - ① 成長の早い苗木を用いた低コスト初期保育スケジュールの検討 (森林環境部)
- (5) 地域密着型研究課題
 - ① 針葉樹人工林の混交林化技術の開発 (森林環境部)

- ② ヒノキ根株心腐れ病の病原菌の解明と植栽木への感染リスクの評価（森林環境部）
 - ③ ドローンを活用した省力的なシカ対策に関する研究（森林環境部）
 - ④ キノコバエ類の物理的防除技術の開発（森林環境部）
 - ⑤ 林地保全に配慮した森林作業道保全手法の研究（森林資源部）
 - ⑥ 中小製材工場向け接着重ね梁の製造に向けた接着性に関する研究（森林資源部）
 - ⑦ 山地災害リスクと地形特性を考慮した森林整備計画の研究（森林資源部）
- (6) 外部資金研究課題
- ① 森林管理のための高精度情報の活用技術の開発（森林環境部）
 - ② 成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発（森林環境部）
 - ③ 樹木根系の分布特性の多様性を考慮した防災林配置技術の開発（森林資源部）
 - ④ 用途に応じた木材製品を安定供給するための大径材の加工・利用技術の開発（森林資源部）

5 主要試験研究機器・産業機器

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
ガスクロマトグラフ装置一式	HEWLETT PACKARD、HP6850	試料自動注入装置付
冷却遠心濃縮機一式	タイテック	VC36N.ローター36A
超低温冷蔵庫	日本フーザー-CL-322U	-85℃、310L
大型振とう器	ヤヨイ エイト20-W	8の字振とう 20～130回/分
炭酸ガス培養装置	日本医化、NC-350HC	5～50℃、最大炭酸ガス濃度3,000ppm
エレクトロポレーション装置一式	BioRod社製 GenePulserXcell	発生波形：エクスponential波・スクエア波
動物個別飼育制御装置	日本医化、LP-80CCFL-6CTAR	温度、照明6室個別制御、5～45℃
超臨界二酸化炭素抽出機	(株) アイテック	設定圧力29MPa、設定温度150℃、抽出槽容積300cc
炭素窒素分析装置	ヤナコ、MT-700	土壌、汚泥、動植物体有機物対応、資料重量1,000mg
レーザーレンジファインダー	Laser Technology, TruPulse360	測定可能距離:1000m(±0.3m) 傾斜センサ:上下90° 方位角センサ:0～359.9°
キノコ培養器	トミー精工、CFH-415	照度上限30,000lux 使用温度範囲5～50℃ 湿度制御範囲50～90%RH
炭素窒素同時定量装置	ジェイサイエンスラボ、JM1000CN	乾式燃焼法、試料の量(土壌～1000mg)、オートサンプラー(JMA1000)含む
マルチチャンネル検出器	日本分光、MD-2018	波長範囲200～900nm、PC含む
デジタルマイクロスコープ	キーエンス、本体VHX-1000	観察倍率～1000倍
凍結乾燥機	東京理化工機、FDU-1100	トラップ冷却温度-45℃、除湿量4L
斜面調査用簡易貫入試験機	ダイワテクノグリーン SH型	最大測定深5m
樹木精密診断装置	WALESCH ELECTRONIC社、IML-RESI F500SX	穿孔速度 10～45cm/分、分解能 0.1mm
実験用木材乾燥機	大井製作所	減圧0.2気圧、温度調整範囲40～130度
架線張力測定装置	共和、他	250kN張力計(3点式張力計)×1式 50kN張力計(ロードセル)×2
クロスカットソー	小林機械工業 KM-5C-600	丸ノコ径610mm、切断可能寸法150×340mm
卓上型物性測定器	YAMADEN TPU-2D	ストレインゲージ式荷重検出器、測定可能最大荷重50N、自動解析装置付き
人工気象器	トミー精工 CLE-305	容量300L、最大照度15,000ルクス、温度5～40℃
マイクロ波透過型含水率計	MC-3200EX	測定方式：マイクロ波透過型、測定範囲：5～38%、測定厚さ：135mm以下

機 器 名	メーカー・型式	仕 様
FFTアナライザー	小野測器 CF-4700	周波数範囲：1Hz～40kHz、 ダイナミックレンジ：110db以上、 入力チャンネル：1チャンネル
高温用小型ロードセル	共和電業LUR-A=500NSA4C	定格容量：500N、圧縮引張型、 最高使用温度：150℃
超音波加湿器	ニッポー NP796	霧化量3.4L/h、霧化ユニット6個 給水圧力0.05～0.20Mpa
クリーンベンチ	日立 PCV-1606BNG	集塵効率0.3μm粒子にて99.99%以上 作業室内清浄度 ISOクラス4
ドラフトチャンバー	ダルトン DFC79 ダルトン DFC14	粉じん除去用、制御風速1.00m/s ガス処理用、制御風速0.50m/s
実体顕微鏡システム	オリンパス SZX16-3151	倍率7～115倍、280万画素デジタルカメラ 搭載
生物顕微鏡システム	オリンパス 本体：BX53F2 顕微鏡用カメラ：DP22-CU	倍率40～1000倍、微分干渉
キノコ個別培養制御装置	日本医化機器LP-80LED-6CTA R	温度範囲：5～45℃
恒温恒湿室	エスペック TBL-4E20A0P2J	制御可能温度範囲：-30～80℃ 制御可能湿度範囲：20～95%
自動4面かんな盤	常盤工業 GMX-5000CP	横鉋軸切削範囲：15～490mm 縦鉋軸切削範囲：5～210mm 自動一面切削範囲：5～400mm
ガスクロマトグラフ質量 分析装置	SHIMADZU GCMS-QP2020NX	におい嗅ぎ装置付き

6 定期刊行物

- 森林研究所研究報告（年1回）
- 森林研究所業務報告（年1回）
- 森林研情報（年1回）

7 利用案内

林業相談指導：森林造成管理、森林樹木の病虫害防除・被害診断、きのこ栽培、森林資源生産技術、
樹木成分の利用等の技術相談
技術相談は来庁、電話、メールにて受付

8 相談窓口

E-mail アドレス info@forest.rd.pref.gifu.jp
ホームページ http://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/

9 交通案内

- 長良川鉄道 「梅山駅」下車 徒歩 10分
- 岐阜バス美濃線 「うだつの町並み通り」下車 徒歩 15分
- 東海北陸自動車道 「美濃IC」より車で10分

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター

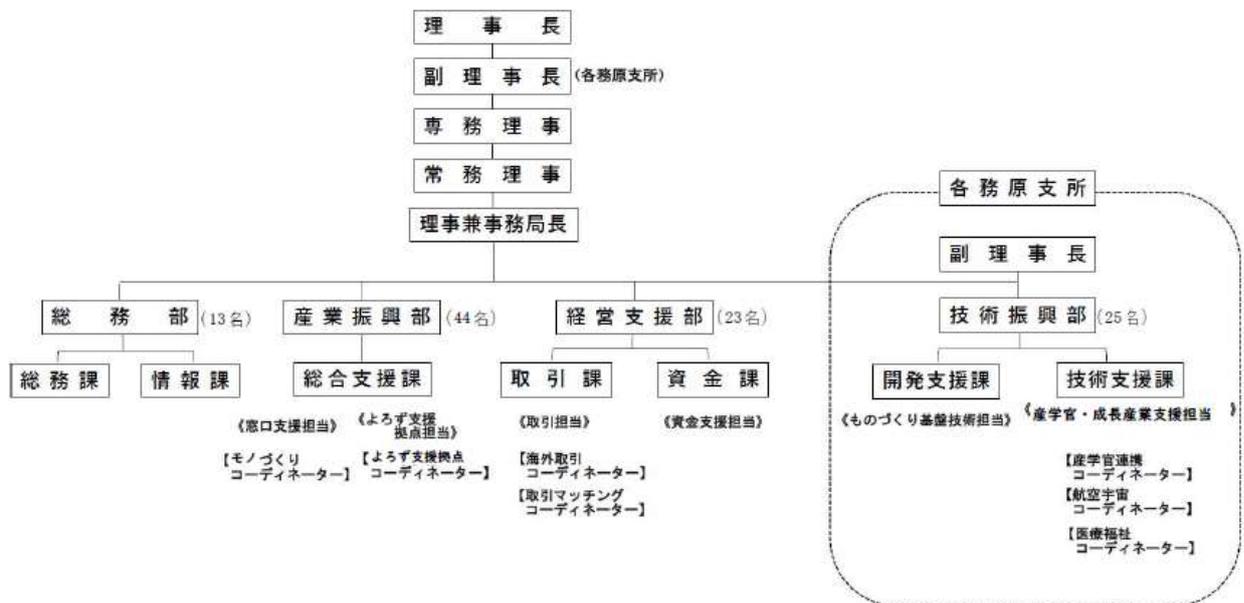
所在地	本所	〒500-8384 岐阜市藪田南5丁目14-53
	各務原支所	〒509-0109 各務原市テクノプラザ1-1
電話	本所	(058)277-1090 FAX (058)277-1095
	各務原支所	(058)379-2212 FAX (058)379-2215
理事長	井川 孝明	設立 平成12年
職員数	109名（うち各務原支所 26名）	
対象業種または技術分野	ものづくり基盤技術、科学技術に関する研究交流、コーディネート、共同研究、情報提供、総合相談支援、経営支援	

1 設置概要(目的、経緯等)

創業及び中小企業の経営基盤の強化、経営の合理化・安定化、新産業の育成、その他中小企業の経営環境の改善並びに地域振興を支援するための事業の推進を図り、もって岐阜県の産業経済の健全な発展に寄与することを目的に平成12年に発足し、平成24年4月に公益財団法人に移行した。平成31年4月1日に公益財団法人岐阜県研究開発財団を吸収合併し、各務原支所（技術振興部）を設置した。

当センターでは、産学官連携・共同研究による事業の芽出しから、成長分野への新規参入案件の発掘、事業化支援（販路開拓、海外展開）や経営支援を連携させることで、ワンストップ・一気通貫の企業支援を実施する。

2 組織



3 主要事業

- (1) モノづくりコーディネーター設置事業（本所 産業振興部）

経営面、技術面の専門スタッフを配置して、国・県の中小企業支援情報をワンストップサービスで提供するほか、御用聞き訪問により、企業が抱える課題解決を行う。
- (2) 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（よろず支援拠点事業：本所 産業振興部）

岐阜県よろず支援拠点では、市町と連携し、県内18か所に経営相談窓口を設け、経営上の様々な課題に対し、総合的・先進的なアドバイスを行う。
- (3) アドバイザー派遣事業（本所 産業振興部）

中小企業の抱える諸問題（経営・技術・人材等）の解決を図るため、民間のアドバイザーを企業に派遣し、適切な診断・助言を行う。

- (4) 創業支援事業（本所 産業振興部）
ワークショップにより起業への機運を高めるぎふスタートアップキャンプの開催のほか、スタートアップ企業への補助、東京圏から岐阜県へ移住し、地域課題を解決する分野での起業家への補助、女性創業アドバイザーによる創業相談対応などの創業関係事業を行う。
- (5) 海外取引促進事業（本所 経営支援部）
企業の国際的な事業展開を支援するため、コンサルティング、情報収集、海外マーケット調査を行い、企業ニーズにあった取引支援を行う。
- (6) ものづくり設備整備強化事業（本所 経営支援部）
県内ものづくり中小企業者に代わり、当センターが希望の設備を購入し、その設備を「割賦販売」または「リース」する。IoTを活用した機械設備等を対象とするIoT枠も設置。
- (7) 地域活性化ファンド支援事業（本所 経営支援部）
中小企業等が行う新商品開発・新技術開発及び商品等の販売力強化の取り組みに対して、資金面での支援を行う。
- (8) 戦略的基盤技術高度化支援事業（各務原支所 技術振興部）
中小企業が大学等試験研究機関と共同して、事業化を見据えた革新的技術開発に挑戦できるよう、戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）への計画立案・申請から採択後の事業運営・管理までのサポートを行う。
- (9) 産学官共同研究促進事業（各務原支所 技術振興部）
県内企業が大学、高専、県試験研究機関の有する技術シーズを活用した共同研究開発を目指す際に、産学官連携コーディネーターが必要な情報の提供、産学官や産産連携のコーディネート等を行う。
- (10) ヘルスケア産業展開支援事業（各務原支所 技術振興部）
ヘルスケア分野において、県内企業の技術シーズを活かした新規参入や事業展開を支援するため、医療福祉コーディネーターによる窓口相談、販路開拓、医療現場等のニーズ収集・提供等の支援を行う。
- (11) ヘルスケア産業新ビジネス展開支援事業（各務原支所、技術振興部）
ヘルスケア産業におけるビジネスチャンス（コロナ経済対策）創出を支援するため、ヘルスケア産業への新規参入や事業拡大を目指す企業の掘り起しを行うとともに、医療・福祉機器（用具）等の試作助成や販路開拓助成等による伴走支援を行う。
- (12) 航空宇宙産業支援事業（各務原支所 技術振興部）
成長が期待される航空宇宙産業分野における県内企業の新規参入や人材育成、新技術開発、販路開拓等の取り組みに対して、航空宇宙コーディネーターによる窓口相談、販路開拓、人材育成セミナー、技術開発のサポート等の支援を行う。
- (13) 航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化支援事業（各務原支所 技術振興部）
県内中小企業・中小企業グループが、航空宇宙・医療福祉機器・医薬品等の成長分野における取り組み（新たな生産体制構築、新技術・新工法・新製品開発、認証取得）に助成するとともに、コーディネーターによる支援を行う。
- (14) 航空宇宙産業競争力維持支援事業（各務原支所 技術振興部）
高度な品質管理を求められる航空宇宙産業において、県内中小企業が、取引拡大や新規参入のために取得した国際的な公的認証（JISQ9100、Nadcap）を継続的に維持していくために必要な経費に対する助成を行う。
- (15) 航空宇宙関連企業新ビジネス展開支援事業（各務原支所 技術振興部）
航空宇宙関連企業が保有する高度な技術を活かし、新分野への展開を図るために必要な事業計画策定、試作品作製、販路開拓に要する経費に対する助成を行う。

4 定期刊行物

メールマガジン（月2回の定期発行）で、センター事業、研究開発情報、講演会、公募などの情報を提供する。

5 相談窓口

ホームページ（お問い合わせ）からの問い合わせ、電話・FAXによる問い合わせは、下記ホームページを参照。

ホームページ <https://www.gpc-gifu.or.jp/>

6 交通案内

本所	JR 岐阜駅（北口）より「岐阜バス」で約 20 分 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約 25 分 JR 西岐阜駅（南口）より「西ぎふ・くるくるバス」で約 12 分 JR 東海道新幹線・岐阜羽島駅、名神高速道路・岐阜羽島 IC から車で約 20 分
各務原支所	名鉄各務原線「三柿野駅」よりタクシー約 10 分 JR 高山本線「蘇原駅」よりタクシー約 10 分 東海北陸自動車道「岐阜各務原 IC」より約 15 分、「関 IC」より約 10 分 国道21号 県道「江南関線三ツ池町交差点」より約10分